

令和2年度 事業報告書

ふれあいネットワーク



社会福祉法人

尾道市社会福祉協議会

目 次

1. 法人運営事業

(1) 理事会、評議員会等の開催	2
(2) 役員・評議員・監事研修会	5
(3) 福祉基金の運用	5
(4) ボランティア基金の運用	5
(5) 金山基金の運用	6
(6) 社協会員の加入促進	6
(7) 寄付金の受付	7

2. 地域福祉事業

(1) 地区社協等地域組織強化事業	8
(2) ふれあいサロン事業	15
(3) 生活福祉資金貸付事業	21
(4) 福祉サービス利用援助事業「かけはし」	21
(5) 法人後見事業	22
(6) 認知症高齢者見守り事業	22
(7) 認知症サポーター養成事業	24
(8) 認知症カフェ推進事業	27
(9) 住民参加型ふれあいサービス事業	31
(10) 介護器具等の貸し出し事業	31
(11) 福祉総合相談事業	32
(12) 生活困窮者自立支援事業	32
(13) 生活支援体制整備事業	34
(14) おのみち福祉まつり・尾道市社会福祉大会等の開催	36
(15) 広報啓発活動	37
(16) 民生委員児童委員協議会との連携	37
(17) 福祉まるごと相談窓口事業	37

3. 福祉人材養成事業

(1) 地域人材確保推進体制整備事業	39
(2) 大学、専門学校等社会福祉援助技術実習生等の受け入れ	40
(3) 日本赤十字社講習会	41

4. 福祉教育推進事業

(1) 児童・青少年を対象とした福祉教育	41
----------------------	----

5. ボランティア活動推進事業

(1) ボランティアセンターの運営	43
(2) ボランティア養成事業	47

6. 高齢者福祉事業	
(1) 第46期尾道いきいき大学	51
(2) 敬老会	51
7. 障害者福祉事業	
(1) 障害者社会参加促進事業	54
(2) 障害者当事者団体への支援・協力	56
8. 児童福祉事業	
(1) 子育て支援ネットワークづくり	57
(2) 子どもの居場所づくり	60
9. 母子・父子福祉事業	
(1) ひとり親家庭の就労支援講座	62
10. 尾道市総合福祉センター等の管理	
(1) 尾道市総合福祉センターの管理	62
(2) 向島福祉支援センター（愛あいセンター）の管理	64
(3) 因島総合福祉保健センターの管理	64
11. 尾道市総合福祉センター事業	
(1) 障害者福祉センター事業	65
(2) 老人福祉センター事業	66
(3) 児童センター事業	67
(4) 母子・父子福祉センター事業	69
(5) 福祉センター事業「よりあい広場」	70
12. 共同募金事業	70
13. 災害支援事業	
(1) 災害ボランティアセンター	71
(2) 災害義援金の募集	71
(3) 支え合いセンター	72
14. 地域包括支援センター事業	
(1) 総合相談・支援業務	73
(2) 介護プラン作成件数	73
(3) 介護予防普及啓発事業	73
(4) 地域活動	76
(5) 認知症地域支援推進員の活動	79
(6) 包括支援センター担当者会議	80
(7) 研修等	82

15. 介護保険事業

- (1) 居宅介護支援事業 84
- (2) 訪問介護事業 86
- (3) 訪問入浴介護事業 89
- (4) 通所介護事業 90

16. 障害福祉サービス事業

- (1) 障害者訪問介護事業 93
- (2) 障害者訪問入浴介護事業 93
- (3) 障害者通所介護事業 93

令和2年度 事業報告

少子・高齢化による人口減少、単身世帯の増加、社会的孤立等により、地域住民が抱える生活課題も多様化、複雑化し、公共サービスだけで解決することが困難となり、地域で暮らす全ての人がいきいきと幸せな生活を送るためには、住民同士の支え合いやセーフティネット機能の強化が重要になっています。このような中、尾道市社会福祉協議会（以下、「本会」という。）では、地域の間人関係を大切に、住み慣れた地域で安心して生活できることを願い、事業を実施しました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、本会の実施事業にも大きな影響が続いています。事業によっては年度当初から、活動を休止・縮小せざるを得ない状況になりました。再開出来た事業は、6月以降順次工夫して実施しました。

生活支援体制整備事業は、北部・中央・西部・南部（因島）・南部（瀬戸田）地域包括支援センターの各圏域において事業実施し、南部（因島）地域では、第2層協議体の設置が出来ました。

小地域ネットワーク推進事業は、地区社協や町内会の4地区において生活課題の把握や支援の方法など、地域の実情にあった支え合いのまちづくりに取り組みました。

生活困窮者自立支援事業は、複合した生活課題を抱える生活困窮者の早期発見を図り、自立した生活を行えるよう必要な支援を実施致しました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、前年度比較約3倍の新規相談受付件数629件、内11件のプラン作成を行い、関係機関と連携して総合的なサポートを実施しました。生活福祉資金貸付事業では、新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）・住居確保給付金が実施されました。本会が窓口となった貸付・給付申請は、994件、総額約2億9,400万円にのびりました。

ふれあいサロン事業は、6月以降順次再開し171カ所中150カ所で開催され、その内常設型（週1回以上開催）サロンも16カ所で開催されました。

子育て支援ネットワークづくりの推進は、コロナ禍における親子の支援方を模索しながら、孤立しないような配慮を行いました。

認知症の人にやさしいまちづくり事業は、認知症の方や家族を支援するため支援員を派遣するとともに、新規の支援員の養成講座を行いました。地域で認知症の理解を深めるため、オレンジカフェの開催や認知症サポーター養成事業等に取り組みました。

支え合いセンターの運営では、平成30年7月豪雨災害の市内被災者、383世帯を対象に尾道市の保健師等と同行訪問するなどの支援活動を行いました。被災者の多くが生活の安定を取り戻されており、令和3年3月末をもって支え合いセンターを閉所しました。継続的な支援がなお必要な世帯には、市等関係機関と連携し本会も支援を継続していきます。

そのほか、福祉サービス利用援助事業（かけはし）は、61人の方に、法人後見事業は、4人の方の後見人として支援を行いました。広島県社会福祉協議会等が実施する各種研修に参加し、職員の資質向上に努めました。

介護保険、障害福祉サービス、介護予防・日常生活支援総合事業では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、感染予防対策として必須のマスクや消毒液が不足する中、不安を抱えながらも感染予防に配慮しつつ、個別に高齢者・障害者への事業を実施しました。

また、介護人材不足の中、書類作成や情報連携等を効率化し、本来行うべき介護の部分にきちんと時間をかけることができるよう I T 導入補助金を活用し、介護ソフトを導入して業務改善に取り組みました。

1. 法人運営事業

(1) 理事会、評議員会等の開催

理事会、評議員会等を開催し、適正な運営に努めた。

① 理事会の開催

開催日	主な議題
第1回 6月12日(金) 出席者 15名	議案第1号 令和元年度事業報告について 議案第2号 令和元年度一般会計決算について 議案第3号 定款の一部改正について 議案第4号 定款細則の一部改正について 議案第5号 理事候補者の推薦について 議案第6号 役員等の報酬に関する規程の一部改正について 議案第7号 評議員選任・解任委員会運営規程の一部改正について 議案第8号 パートタイマー等職員就業規程の一部改正について 議案第9号 評議員選任・解任委員の選任について 議案第10号 評議員選任・解任委員会の招集について 議案第11号 評議員候補者の推薦について 議案第12号 定時評議員会の招集について 報告事項 職務執行状況報告について 報告事項 社協事務局体制について 報告事項 介護事業所運営規程の一部改正について
第2回 11月11日(水) 出席者 14名	議案第13号 令和2年度一般会計補正予算(第1号)について 議案第14号 職員就業規程の一部改正について 議案第15号 給与規程の一部改正について 議案第16号 育児・介護等休業規程の一部改正について 議案第17号 理事会運営規程の一部改正について 議案第18号 役員職務権限規程の一部改正について

	議案第 19 号 評議員の報酬等に関する規程の一部改正について 議案第 20 号 評議員選任・解任委員会の招集について 議案第 21 号 評議員候補者の推薦について 議案第 22 号 評議員会の招集について 報告事項 職務執行状況報告について 報告事項 令和 3 年度いきいき大学の運営について
第 3 回 3 月 19 日 (金) 出席者 13 名	議案第 23 号 令和 2 年度一般会計補正予算 (第 2 号) について 議案第 24 号 令和 3 年度事業計画について 議案第 25 号 令和 3 年度一般会計収支予算について 議案第 26 号 事務局規程の一部改正について 議案第 27 号 評議員選任・解任委員会運営規則の一部改正について 議案第 28 号 評議員会の招集について 報告事項 総合福祉センター (会議室の使用制限) について 報告事項 いきいき大学 (入学式の簡略化) について 報告事項 理事会、評議員会 (6 月) について 報告事項 福祉まつりにについて 報告事項 社会福祉大会について

② 評議員会の開催

開催日	主な議題
第 1 回 6 月 29 日 (月) 出席者 28 名	議案第 1 号 令和元年度事業報告について 議案第 2 号 令和元年度一般会計決算報告について 議案第 3 号 定款の一部改正について 議案第 4 号 定款細則の一部改正について 議案第 5 号 役員等の報酬に関する規程の一部改正について 議案第 6 号 理事の選任について 報告事項 職務執行状況報告書について 報告事項 行事等の対応について 報告事項 社協事務局体制について
第 2 回 11 月 25 日 (水) 出席者 31 名	議案第 7 号 令和 2 年度一般会計補正予算 (第 1 号) について 議案第 8 号 評議員の報酬に関する規程の一部改正について 報告事項 事業実施報告について 報告事項 赤い羽根共同募金の街頭募金について

第3回 3月29日(月) 出席者 33名	議案第9号 令和2年度一般会計補正予算(第2号)について 議案第10号 令和3年度事業計画について 議案第11号 令和3年度一般会計収支予算について 報告事項 総合福祉センター(会議室の使用制限)について 報告事項 いきいき大学(入学式の簡略化)について 報告事項 理事会、評議員会(6月)について 報告事項 福祉まつりについて 報告事項 社会福祉大会について
----------------------------	---

③ 監事会

開催日	主な議題
5月29日(金) 出席者 3名	(1) 令和元年度事業監査について (2) 令和元年度一般会計監査について

④ 役員及び評議員合同会議

開催日	主な議題
9月28日(月) 出席者 47名	協議事項1 令和2年度尾道市社会福祉大会の中止について 報告事項 おのみち福祉まつりの中止について 報告事項 いきいき大学(後期)の休校について 報告事項 非接触型体温計の配布について

⑤ 評議員選任・解任委員会

開催日	主な議題
6月22日(月) 出席者 4名	議案第1号 委員長の選任について 議案第2号 評議員の選任について
11月13日(金) 出席者 4名	議案第3号 評議員の選任について

⑥ 表彰審査委員会

開催日	主な議題
10月7日(水) 出席者 5名	(1) 令和2年度社会福祉活動功労者及び介護者表彰について 市社協会長表彰として、社会福祉協議会関係者 19名、民生委員児童委員 2名、社会福祉施設・団体関係者 31名、ボランティア(個人) 31名、ボランティア(団体)

	<p>1 団体、介護者 4 名を決定した。</p> <p>(2) 尾道市長感謝状の推薦について 市長感謝状として、社会福祉協議会関係者 5 名を推薦することを決定した。</p>
--	--

(2) 役員・評議員・監事研修会

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、広島県社会福祉夏季大学が中止となった。

(3) 福祉基金の運用

福祉基金の利息を法人運営費として有効に活用した。

(単位 円)

区 分	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度
① 積立状況	155,388,673	155,388,673	155,388,673
② 利息収入	1,522,497	1,522,437	1,525,815
③ 使途 法人運営事業	1,520,000	1,500,000	1,525,815
④ 次期繰越金	24,934	22,437	0

(4) ボランティア基金の運用

ボランティア基金の利息を福祉大会事業、子育て支援事業、ボランティア養成事業などへ有効に活用し事業の充実を図った。

(単位 円)

区 分	令和 2 年度	令和元年度	平成 30 年度
① 積立状況	352,276,008	352,276,008	352,276,008
② 利息収入	4,343,739	4,346,202	4,346,701
③ 使途の内訳 (合計)	4,698,315	4,346,202	4,346,701
ア 認知症高齢者見守り事業	0	54,529	343,736
イ ふれあいサービス事業	0	137,000	10,264
ウ 福祉総合相談事業	52,253	49,680	10,000
エ 福祉大会事業	280,104	700,000	547,000
オ 福祉まつり事業	48,800	152,214	170,000
カ 福祉教育事業	29,600	4,147	31,000
キ ボランティア養成事業	152,411	506,000	2,534,701
ク 子育て支援事業	206,391	441,942	700,000
ケ ブックスタート事業	0	32,114	0

コ 法人運営事業	1,405,000	1,914,000	0
サ 次期繰越金	2,523,756	354,576	0

(5) 金山基金の運用

金山基金の利息は、新型コロナウイルス感染拡大による事業の中止等で次年度へ繰り越した。

(単位 円)

区 分	令和2年度	令和元年度	平成30年度
① 積立状況	112,074,704	132,074,704	152,074,704
② 利息収入	13,022	474,706	1,107,451
③ 基金取崩額	20,000,000	20,000,000	23,124,931
④ 前期繰越金	4,789,798	3,358,766	1,697,093
⑤ 使途の内訳 (合計)	24,802,820	23,833,472	25,929,475
ア 認知症高齢者見守り事業	0	0	79,264
イ 認知症サポーター養成事業	0	0	61,000
ウ 介護器具支援事業	0	0	34,000
エ 福祉総合相談事業	0	0	101,220
オ 福祉大会事業	0	0	153,000
カ ボランティア養成事業	0	0	129,196
キ 子育て支援事業	0	0	188,529
ク ふれあいサロン事業	0	0	50,000
ケ ブックスタート事業	0	0	9,430
コ 災害関連事業	0	0	9,822,377
サ 法人運営事業	12,512,015	19,043,674	11,942,693
シ 次期繰越金	12,290,805	4,789,798	3,358,766

(6) 社協会員の加入促進

世帯会員、団体会員、賛助会員の加入をお願いし、市社協への理解に努め協力を得た。

区 分	旧 尾 道		御 調		向 島	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
世帯会費	27,535	4,130,300	2,053	307,950	5,065	759,750
団体会費	38	114,000	8	24,000	11	39,000
賛助会費 (事業所)	124	544,000	36	132,000	29	123,000
(個人)	179	321,000	2	6,000	2	8,000
合 計		5,109,300		469,950		929,750

区 分	因 島		瀬 戸 田		合 計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
世帯会費	8,120	1,218,000	3,538	530,700	46,311	6,946,700
団体会費	8	24,000	4	12,000	69	213,000
賛助会費 (事業所)	51	190,000	35	149,000	275	1,138,000
(個人)	5	24,000	3	11,000	191	370,000
合 計		1,456,000		702,700		8,667,700

(7) 寄付金の受付

福祉活動の財源として、市民の皆様の協力を得ることができた。

① 受付状況

区 分	旧 尾 道		御 調		向 島	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
市社協指定分	97	2,531,490	22	690,000	49	1,103,879
地区社協指定分	99	2,720,000	13	270,000	82	1,930,000
合 計	196	5,251,490	35	960,000	131	3,033,879
(内訳)						
香典返し	169	4,658,000	34	760,000	123	2,478,000
一 般	27	593,490	1	200,000	8	555,879
物品寄付	6	106,000	1	105,490	0	0

区 分	因 島		瀬 戸 田		合 計	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
市社協指定分	1	132,003	12	390,000	181	4,847,372
地区社協指定分	37	460,000	4	120,000	235	5,500,000
合 計	38	592,003	16	510,000	416	10,347,372
(内 訳)						
香典返し	37	460,000	15	470,000	378	8,826,000
一 般	1	132,003	1	40,000	38	1,521,372
物品寄付	1	7,000	0	0	8	218,490

② 寄付金管理運営委員会の開催

開催日	議 題
第1回 1月27日(水) 出席者9名	報告事項 (1) 令和元年度寄付金の取扱状況について (2) 令和元年度寄付金の使途について (3) 令和2年度寄付金の取扱状況について (4) 令和2年度寄付金の使途について 協議事項 (1) 令和3年度寄付金の使途について

2. 地域福祉事業

(1) 地区社協等地域組織強化事業

① 小地域ネットワーク推進事業

地区社協を基盤とした住民の見守りや支え合い活動の推進を目的に、令和2年度は2地区社協を新たにモデル指定とし、モデル指定2年目を迎えた2地区社協(継続)と合わせて4地区社協で小地域ネットワーク推進事業を展開した。助成は1地区社協50,000円、モデル指定期間は2年間としている。

ア 小地域ネットワーク推進事業モデル指定で取り組んだ地区社協

(ア) 新規の地区社協

旧尾道地域：久保地区(旭ヶ丘町内会)

向島地域：立花地区

(イ) 継続中の地区社協

旧尾道地域：栗原・久山田地区

御調地域：河内地区

イ モデル指定地区の主な取り組み

(ア) 新規の地区社協

a 久保地区………(a)小地域ネットワーク推進事業会議の開催(4回)

(旭ヶ丘町内会) (b)サポーター小委員会会議の開催(6回)

(c)小地域ネットワーク活動の啓発チラシを全戸配布

(d)見守りサポーターの募集と推薦

(e)見守りサポーター会議を開催(4回)

(f)見守りサポーターに向けた地域づくり講演会を開催

(g)75歳以上の方を対象にした「地域見守りサポーター活動アンケート」の実施

(h)見守りサポーター向けの勉強会を実施(地域包括支援センター及び個人情報の取り扱いについて)

b 立花地区………(a)小地域ネットワーク推進会議の開催(3回)

(b)見守り隊員の配置

(c)小地域ネットワーク推進事業モデル指定の啓発チラシを全戸配布

(d)「70歳以上の一人暮らしの方」、「75歳以上の方」を対象にアンケート調査を実施

(e)「たちばなだより」に小地域ネットワーク活動及びアンケート調査に関する記事を掲載し全戸配布

(f)アンケート回答者にアンケート調査の集計結果を配布

(イ) 継続（2年目）の地区社協

- a 栗原・久山田地区…(a)小地域ネットワーク推進事業会議の開催（1回）
 (b)見守り隊員名簿の更新
 (c)町内会長会議にて「見守り隊」の説明
 (d)モデル町内会の選定
 (e)久山田町内会(モデル町内会)役員会義で見守り隊の説明
 (f)久山田町内会(モデル町内会)において見守り対象者のリスト化
 (g)久山田町民に向けた見守り隊の紹介チラシを配付
- b 河内地区……………(a)小地域ネットワーク会議の開催（9回）
 (b)事務局会議の開催（6回）
 (c)「あんしんカード」の配付と回収
 (d)見守りマップの作成
 (e)地域づくり講演会の開催
 (f)「みまもりたい」の配置
 (g)「みまもりたい」名札カードの作成

ウ 全地区社協及び民生委員対象の研修会

小地域ネットワーク活動の啓発と普及につなげるため、モデル指定2年目の地区社協による実践報告と研修会を行った。

開催日	場 所	内 容	参加者
3月9日（火）	総合福祉センター	◇小地域ネットワーク推進事業の概要説明 ◇小地域ネットワーク活動の実践報告 ≪発表者≫ ①栗原・久山田地区社協 ②河内地区社協 ◇研修会 (リモート講演&パネルディスカッション) 演題：「広げよう！地域支え合い活動～実践から学ぶ～」 講師：NPO 法人市民プロデュース 理事長 平田隆之さん パネリスト：発表者の2地区社協	93名

【成果】

- ・ モデル指定地区で小地域ネットワーク活動が展開され、地域住民同士の見守り・支え合い体制の基盤及び体制が構築された。
- ・ 地域住民に向けてのアンケート調査は、地域の生活課題や見守り活動に対する住民の思いなどが把握でき、小地域ネットワーク活動を進めていくための効果的な手法であった。
- ・ 実践報告&研修会では、チラシ送付だけではなく、各種会議等での積極的な参加呼びかけで93名と多くの方に参加いただき、小地域ネットワーク活動の啓発を図ることができた。

【課題】

- ・ モデル指定地区において、地区社協や自治会、民生委員等が連携して活動が進められるよう支援を行い、小地域ネットワーク体制の構築を図っていく。
- ・ 小地域ネットワーク推進事業を円滑に進めるため、モデル指定地区内で地域住民に向けた事業説明や勉強会等が行われるような側面的支援が必要である。
- ・ 地域住民同士の生活支援活動、交流の拠点づくりなど、見守り活動に加えて幅広い支え合い活動の展開を行っていききたい。
- ・ 今後も実践報告などを通じて、モデル指定地区の取り組みを他地区に発信し、小地域ネットワーク活動の啓発と普及に努める。

② 生活・介護支援サポーター養成及びスキルアップ事業

高齢者の自立支援及び弱者対策のため、講義と実技を通して、福祉や介護に関する知識や技術を持った生活全般から介護に至るボランティア活動をする担い手の養成を目的として、1地区社協で4講座の新規サポーター養成講座を開催した。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大という予想しない中、地域で集まることがほとんどできない状況においても、地区社協へ働きかけを行い、できる地域から講座の開催につながった。また、講座内容を地域の実情にあった内容に見直し、住民が主体的に考えられるよう講座内容を立案した。

また、スキルアップ講座では、これから活動につなげたい、地域の福祉的情操を高めたいといった地域や講座終了後の学びを深める機会として、3カ所で講座を開催した。

連続講座、単発講座併せて、12講座を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大により、地域活動の多くが停止し、講座の開催が中止になった地域もあった。

ア 新規サポーター養成講座

《木ノ庄西地区社協》サポーター8名登録（受講者18名）

会場：いきいきサロン木ノ庄西

開催日時	内 容
9月29日（火） 18:00～19:30	「尾道市及び木ノ庄西地区の現状とこれから」 講師：尾道市南部地域包括支援センター 高瀬奈美さん

	「安心して暮らすための地域づくり ～いつまでも 暮らしたいこのまちで あなたの笑顔が宝物～」 講師：市社協職員
10月28日(水) 18:00～19:30	「ここ(木ノ庄西)で暮らす！」 …そのために自分ですること、お互い(地域)で取り組むこと… 講師：庄原市生活福祉部高齢者福祉課 生活支援コーディネーター 上田正之さん
11月25日(水) 18:00～19:30	「いざと言う時にも安心できる地域づくり」 ～地域の支え合いと現在・防災・災害時対応～ 講師：(特活)ひろしまNPOセンター理事 広島県被災者生活サポートボラネット委員 増田勇希さん
12月16日(水) 18:00～19:30	「絆を深める綾目地区ネットワーク活動 ～地域全体の協働で暮らしの安心づくり～ 実践発表者：御調町綾目地区社協事務局長 源田芳教さん グループワーク テーマ：「実際に取り組める内容について」 ファシリテーター：市社協職員

イ スキルアップ講座

開催日時	内 容
11月27日(金) 19:30～20:10 受講者：19名	「ここ(河内)で最後まで暮らそう！」 講師：庄原市生活福祉部高齢者福祉課 生活支援コーディネーター 上田正之さん 会場：河内公民館 グループワーク
11月28日(土) 18:30～19:30 受講者：37名	「ここで暮らす！いまさら地域？いまこそ地域！～」 講師：庄原市生活福祉部高齢者福祉課 生活支援コーディネーター 上田正之さん 会場：尾道市人権文化センター
令和3年 1月30日(土) 13:30～15:30 受講者：19名	「安心して暮らすための地域づくり」 講師：庄原市生活福祉部高齢者福祉課 生活支援コーディネーター 上田正之さん 会場：大田ふれあい館

【成果】

- ・ これまでの企画を見直し、住民が主体となって、それぞれの地域性を活かした取り組みにつなげるために、地域のニーズにあった講座メニューの立案を行った。
結果、2年前の豪雨災害で、被害のあった地域では、防災時の見守りにつなげたいという要望のもと、講座開催後は、住民が主体的に仕組みづくりを進めている。

- ・ 改めて、地域のつながり、助け合い、支え合いが大切であることを再認識することができた。住み慣れた地域で安心して暮らし続けるためには、顔の見える近所でお互い様の気かけ合う活動が必要である。
- ・ 引き続き、コロナ禍においても、感染対策を講じ、地域の思いを具現化できるような話し合いの場を広げていく。

③ 地区社協会長会議の開催

ア 旧尾道地域

開催日	内 容
7月6日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敬老会の事務手続き等について ・ 「生活介護支援サポーター養成講座」「小地域ネットワーク推進事業」「生活支援体制整備事業」事業説明、まるごと相談窓口の紹介、職員紹介
11月2日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敬老会の反省等について ・ 生活支援体制整備事業と地域福祉事業の説明

イ 御調地域

開催日	内 容
7月8日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新地区社協会長の紹介 ・ 敬老会の事務手続き等について
11月6日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敬老会事業の反省等について ・ 御調地域の地域づくりについて

ウ 向島地域

開催日	内 容
7月10日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員紹介及び地区社協会長自己紹介 ・ 敬老会の事務手続きについて
10月15日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敬老会の反省について ・ 共同募金について

エ 因島地域

開催日	内 容
5月26日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度事業計画(因島支所)について ・ 令和2年度世帯会費の協力依頼について ・ 理事会、評議員会への参加方法について ・ 6月の行事予定について
6月23日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 敬老会の対応について ・ 7月の行事予定について
7月7日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 表彰候補者の推薦について ・ 8月の行事予定について

8月25日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老事業の実施計画について ・共同募金活動について ・共募委員会及び理事監事評議員合同会議への参加方法について ・9月の行事予定について
9月29日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会の実施報告書の提出等について ・共同募金運動について ・10月の行事予定について
10月26日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・共同募金運動について ・理事会、評議員会への参加方法について ・11月の行事予定について
11月27日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援体制整備事業第2層協議体について ・共同募金について ・12月の行事予定について
12月23日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・「おのみち見守り訓練」について ・共同募金の実施状況について ・1月の行事予定について
1月26日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・第47期尾道いきいき大学について ・共同募金の実施状況について ・2月の行事予定について
2月24日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・総合支援資金の「再貸付」制度について ・3月の行事予定について
3月24日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・因島圏域の第2層協議体の設立について ・市社協理事、評議員の改選について ・4月の行事予定について

オ 瀬戸田地域

開催日	内 容
6月9日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・尾道市社協 令和2年度事業計画について ・生活支援体制整備事業について ・地区社協関連事業について ・令和2年度世帯会費及び戸別共同募金の依頼について ・地区社協 令和元年度事業報告書・決算書及び令和2年度事業計画書・予算書の提出について ・ふれあいサロンの再開について ・令和2年度敬老会について
7月14日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老会について ・ふれあいサロンについて
9月8日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・共同募金(街頭募金)について ・敬老会について ・ふれあいサロンについて
3月9日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度共同募金の実績、配分状況について ・令和3年度ふれあいサロンについて ・理事・監事・評議員の選任について

④ 地域活動研修会

ア 向島地区まちづくり花街道整備事業

花ボランティア「ほほえみ」の協力により、「花いっぱい！笑顔いっぱい！」運動を展開した。6月と11月に花を植え、年間を通じて肥料をやり、草取りを行った。

イ 地域づくり講演会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

⑤ 社協型活動総合推進事業（小地域お茶の間づくり）《継続》

週1回開設する常設サロン運営の中から、生活課題に気づき解決をしていくため、隔月第1火曜日に定例会議の「にこにこ会」を開催し、地域住民が日常生活でどのような困りごとを抱えているか、どのような解決方法があるか話し合いを行っている。また常設サロンが拠点となる場づくり、地域づくりができることをPRしている。

実施地域	御調地域[にこにこサロン]
事業内容	<ul style="list-style-type: none">・地域の課題や個別課題の把握・サロンのない地域へ出前サロンを実施・包括支援センター介護なんでも相談会（隔月1回）・公民館運営委員会への出席

⑥ 地区社協事業（自主事業）

今年度はコロナ禍で活動が制限される中ではあったが、尾道市内の63地区で地域住民を対象とした高齢者支援、子育て支援等の自主事業が取り組まれた。

- ・ 25地区で、地区社協だよりの発行等による広報活動が行われた。
- ・ 地域住民の交流を図るため、関係団体と協力して、55地区で地区スポーツ大会、町民運動会、清掃活動等が開催された。
- ・ 30地区で、地区内の高齢者を対象とした配食サービスや料理教室、見守り活動など高齢者福祉に関する取り組みが行われた。
- ・ 24地区で、公民館での地域交流、生物観察会、川あそび教室、絵本の配付等、児童福祉に関する取り組みが行われた。
- ・ 47地区で、年間を通じた防犯パトロール等の見守り活動が行われた。
- ・ 7地区で防災講座の開催や防災訓練等、災害に備えた活動が行われた。

(2) ふれあいサロン事業

ふれあいサロンは今年度 171 カ所が登録。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、令和2年2月から活動停止となったが、6月より遵守項目に沿って可能なサロンから順次再開した。年度内に再開できたサロンは150サロンとなった。開催にあたり、サロン支援員による支援や専門講師の派遣を行った。

会場や地域の意向で開催できなかったサロンについては、見守り活動を積極的に行ってもらい、地域のつながりを絶やさないようにした。

旧尾道地域 19,539 名、御調地域 1,808 名、向島地域 2,686 名、因島地域 10,168 名、瀬戸田地域 514 名、合計 34,715 名がふれあいサロンに参加した。

① 専門講師派遣事業

各サロンに対し、年3回の専門講師を派遣した。ふれあいサロン活動が6月から再開したが、講師派遣は7月から再開した。内訳は、音楽指導 72 回、折紙指導 7 回、栄養指導 3 回、絵手紙指導 15 回、運動指導 64 回、お手玉指導 1 回、認知症サポーター養成講座 5 回、南京玉すだれ指導 4 回、ちんどん指導 11 回、メディカルアロマ指導 5 回、バルーンアート指導 1 回、プリザーブドフラワー指導 5 回、チョークアート指導 11 回、陶芸指導 8 回の計 212 回である。これらの取組みによりサロン活動の幅が広がり、趣味や交流のプログラムだけではなく、認知症予防・介護予防に寄与することができた。

また、シルバーリハビリ体操指導士がサロンへ出向き、体操指導を行った。

種 類	講 師 名
運動指導	吉田深雪さん、藤原信枝さん、杉原ともみさん、鮎本英治さん、幡地玲子さん、田中悦子さん、嶋田萌菜さん、宮地敏恵さん
認知症サポーター養成講座	尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会
音楽指導	じゃんじゃん、福山ピアノプラザ指導員 村上清美さん、シルバー人材センター民謡同好会、 宮本孝子さん、柏原美保子さん
栄養指導	NB会
折紙指導	仁井谷孝一さん
絵手紙指導	高畦八重子さん
お手玉指導	お手玉フレンド
南京玉すだれ指導	お笑いの会、笑おう会
バルーンアート指導	杉原潔さん
メディカルアロマ指導	田中早苗さん
ちんどん指導	尾道お笑いちんどんクラブ
チョークアート指導	大原郁香さん
プリザーブドフラワー指導	ひろひろ
陶芸指導	三島博さん

② サロンへの支援

ア 新規サロンの立ち上げ支援

次年度に向け、御調河内地区丸河南でふれあいサロンの立ち上げについて話し合いを重ねた。

イ 郊外サロンの支援

バスなどを利用して郊外に出かけた際の「郊外サロン助成金」は、実施できるサロンに限られていることから、予算の有効活用を求める声が多く上がった。

市と協議した結果、再開したサロンに対し、令和2年度については「新型コロナウイルス対策費」として助成することとした。

ウ 支援体制

支援員は年間に183回、各サロンに出向き、レクリエーション指導だけではなく、身近な情報などの発信、ニーズに応じた支援等を行った。今年度はこまめな訪問を行い、再開に対して不安を抱えているボランティア、参加者の話を伺った。また、換気や消毒の指導を行った。ふれあいサロンだよりを毎月発行し、各サロンに対して情報提供を行った。

エ ふれあいサロン研修会

ふれあいサロン研修会は感染予防を講じ、人数制限をして開催した。7月は活動再開に際しての説明会を開催した。

3月には各支所で研修会を開催し、今年度のまとめや次年度の計画について説明を行った。口腔内の健康について、公立みつぎ総合病院の歯科衛生士長倉本睦子さんにお話いただいた。

【成果】

- ・ 活動停止により、ボランティア、参加者ともサロンの必要性を再認識することができた。

【課題】

- ・ サロン参加者が定着化する一方で、新規参加者の増加が難しい。
- ・ サロンボランティアの後継者がなかなか育たない。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための活動自粛が継続されれば、事業展開の再検討の必要性のほか、サロン参加者のモチベーションや体調維持に懸念が生じる。

ふれあいサロンの開催状況一覧（令和3年3月末現在）

〔旧尾道地域でのふれあいサロン開催状況〕

(名)

地区・町内会		サロン名	開催場所	実施団体名	開催回数	参加人数
山波	全 域	いきいきサロン	山波公民館	山波地区社協	毎月1回	161
	今免北	ふれあいサロンピーチ	星の里 山波の家	山波地区社協	毎月1回	33
	東 谷	ふれあいサロンきぼう	山田恵子さん宅	東谷町内会	毎月1回	14
新 高 山		あじさいの集い	いきいきサロン新高山	新高山地区福祉調整委員会	毎月1回	29
		さくらんぼ	いきいきサロン新高山	新高山地区社協	毎月1回	30
久保	全 域	さくら会	いきいきサロン久保・いきいきサロン防地	久保地区社協	毎月1回	391
	防 地	ひだまり防地	いきいきサロン防地	久保地区社協	毎月1回	128
	大 宮	フレンド大宮	いきいきサロン久保	大宮クラブ	毎月2回	300
	旭ヶ丘・黄谷	旭ふれあいサロン	人権文化センター	旭ヶ丘・黄谷町内会	毎月1回	224
	旭ヶ丘	ひだまり旭ヶ丘	旭ヶ丘団地集会所	旭ヶ丘町内会	毎月1回	170
筒 湯		筒湯ふれあいサロン	いきいきサロン筒湯	筒湯地区保健推進委員会	毎月1回	54
		サロンひなたぼっこ	いきいきサロン筒湯	筒湯地区社協	毎月1回	39
長 江	長 江	ながえの集い	長江公民館	長江地区社協	毎月1回	297
	長江中	ふれあいサロン山城戸	ふれあいサロン山城戸	長江中町内会	毎月1回	130
	和加礼・長江北	槇ヶ峰ふれあいサロン	いきいきサロン槇ヶ峰	和加礼・長江北町内会	毎月1回	25
		荒神堂サロン	荒神堂サロン	尾道市ボランティア連絡協議会	火曜日～金曜日	575
栗 原	向 峠	向峠なかよしサロン	いきいきサロン向峠	向峠なかよしサークル	毎月1回	0
	潮 見	さくらふれあいサロン	潮見会館	下組北町内会	毎月1回	66
	竹 屋	竹屋ほほえみサロン	竹屋会館	竹屋保健推進委員会・民生委員	毎月1回	116
	本通り第二	ふれあいサロンもみじ	いきいきサロン栗原	栗原本通第二町内会	毎月1回	105
	川 上	川上さくらんぼ会	川上公民館	川上保健推進委員・女性会	毎月1回	45
	向 山	いきいきサロンひまわり	向山クラブ	向山町内会	毎月1回	62
	門 田	門田ほほえみサロン	門田コミュニティセンター	門田町内会	毎月1回	85
	門 田	にこにこクラブ	門田コミュニティセンター	門田地区民生委員	毎月2回	650
	竜王台	おはなの竜王台	竜王台集会所	竜王台町内会	毎月1回	7
	久山田	久山田ふれあいサロン	久山田公民館	久山田町内会	毎月1回	402
	則 末	則末ふれあいサロン	栗原公民館	則末連合町内会	毎月1回	149
	本通り第三	ふれあいサロンわかば	いきいきサロン栗原	栗原本通り第三町内会	年間3回	0
栗原北	三美園団地	三美園団地ふれあいサロンひだまり	いきいきサロン三美園	三美園団地自治会	毎月1回	154
	竹屋団地	竹屋団地ふれあいサロン会	竹屋団地集会所	竹屋団地女性会	毎月1回	0
	大迫団地	大迫団地ふれあいサロン	栗北公民館	大迫団地町内会	毎月1回	152
	三美園住宅自治会	ふれあいサロン気楽	三美園団地住宅自治会集会所	三美園住宅自治会	毎月1回	0
	松 岡	松岡サロン	いきいきサロン栗原北	松岡町内会	毎月1回	146
	三成ヶ丘	ふれあいサロン三成ヶ丘	三成ヶ丘町内会集会所	三成ヶ丘町内会	毎月1回	160
	松岡団地	ふれあいサロン松岡団地	松岡団地集会所	松堂会	毎月2回	792
日比崎	天満、下組南 本通り第1	ふれあいサロンさくら	日比崎公民館	天満、下組南、本通り第1町内会	年間6回	70
	三軒家南・北 若宮	ふれあいサロンぼたん	日比崎公民館	三軒家南・北、若宮町内会	年間6回	40
	吉浦、巖通 新浜東 西之華	ふれあいサロンクローバー	日比崎公民館	吉浦、巖通、新浜東、西之華町内会	年間6回	68
	全 域	松ぼっくり	松ぼっくり	松ぼっくり	週2回	484
		モリングア	モリングア	モリングア	週3回	223
平 原	平原はつらつサロン	平原コミュニティセンター	平原町内会	毎月1回	361	

吉和	全 域	ふれあいサロン吉和	吉和公民館	吉和地区社協	毎月1回	188
	全 域	いきいきサロン吉和	いきいきサロン吉和	吉和地区社協	毎月1回	126
	新 浜	いきいきサロン新浜	いきいきサロン新浜	新浜町内会	毎月1回	82
	高 頭	高頭ふれあいサロン	高頭公民館	高頭町内会	毎月1回	144
三 成	全 域	ふれ愛サロンふじい川	才原なごみ館・大迫公民館・山方公民館ほか	三成地区社協	毎月1回	95
	才 原	健康づくりサロン才原	才原なごみ館	健康づくりサロン才原	毎週1回	1,109
	白 江	白江健康サロン	白江公民館	白江町内会	毎週1回	668
	下組・猪子迫	三成なかよしサロン	いきいきサロン三成	下組町内会・猪子迫町内会	毎月1回	391
木 頃	中 野	仲良しクラブ	いきいきサロン木頃	仲良しクラブ	毎週1回 ※農繁期は休	259
	本郷下組	あやめサロン	いきいきサロン藤井川	本郷下組町内会	毎月1回	99
木ノ庄西	上 中	上中ふれあいサロン	いきいきサロン木ノ庄西	上中町内会	毎月1回	147
	石 畦	石畦ふれあいサロン	石畦ふれあいクラブ	石畦町内会	毎月1回	58
	畑	畑ふれあいサロン	いきいきサロン畑	畑町内会	毎月1回	106
	木ノ庄東	木ノ庄東ふれあいサロン	木ノ庄東公民館	木ノ庄東地区社協	毎月1回	35
原 田	小 原	ふれあいサロン小原	いきいきサロン小原	原田地区社協	毎月1回	85
	梶山田	ふれあいサロン梶山田	J A原田支所	原田地区社協	毎月1回	83
高 須	全 域	鶴羽会	東部公民館	高須地区社協	毎月2回	308
		高須男性サロン	大田ふれあい館ほか	高須男性サロン	毎月1回	15
	太 田	太田ふれあいサロン	大田ふれあい館	太田町内会	毎月1回	152
	横 路	およねサロン	横路公民館	横路町内会	毎月1回	114
西 藤	西藤のつどい	福田ふれあい館	西藤地区社協	毎月1回	244	
浦 崎	戸 崎	戸崎いきいき手城会	戸崎区クラブ	戸崎区	毎月1回	161
	上 組	ふれあいサロン上組	上組区クラブ	上組区	毎月1回	225
	下 組	サロン住吉	下組区クラブ	下組区	毎月1回	143
	灘	いきいきサロンなだ	灘区クラブ	灘区	毎月1回	441
	満 越	満越いきいきサロン	満越クラブ	満越区	毎月1回	134
	新 田	新田ふれあいサロン	新田区クラブ	新田区	毎月1回	128
	海 老	海月ふれあいサロン	海老公民館	海老区	毎月1回	0
	高 尾	いきいきサロン高尾	高尾公民館	高尾区	毎月1回	108
向 東	矢 立	ふれあいサロン矢立	矢立クラブ	ふれあいサロン矢立	毎月1回	597
	彦ノ上一区	ふれあいサロン彦一	彦ノ上児童館	彦ノ上一区	毎月1回	182
	彦ノ上二区	ゆうゆうサロン彦二	彦ノ上児童館	彦ノ上二区	毎月1回	76
	彦ノ上三区	ふれあいサロン彦の上三区	彦ノ上児童館	彦ノ上三区	毎月1回	772
	肥 浜	ふれあい、イキイキ「サロン」ひばま	肥浜公民館	肥浜区	毎月1回	131
		ふれあいサロンスマイル	肥浜公民館	肥浜区	毎月1回	103
	谷 水	ふれあいサロン谷水	谷水公民館	谷水区	毎月1回	76
	堤	ふれあいサロン堤	堤区集会所	堤区	毎月1回	504
	森 金	ふれあいサロン森金	森金公民館	森金区	毎月1回	130
	寺 内	寺内ふれあいサロン	寺内公民館	寺内区	毎月1回	20
	新 開	ふれあいサロン「しんがい」	新開公民館	新開区	毎月1回	103
	天女浜	ゆうゆう天女	天女浜公民館	天女浜区	毎月1回	151
	歌	ふれあいサロン歌	歌公民館	歌区	ほぼ毎日	3,527
	大 町	コミュニティ大町	大町公民館	大町区	毎月1回	100
古江奥	古江奥ふれあいサロン	古江奥公民館	古江奥区	毎月1回	76	
才 越	才越ふれあいサロン	才越公民館	才越区	毎月1回	114	
古江浜	ふれあいサロンひといき	古江浜公民館	古江浜区	毎月1回	92	
百 島	「やすらぎのつどい」	いきいきサロン百島	百島地区社協	年間7回	0	

〔御調地域でのふれあいサロン開催状況〕

(名)

地区名	サロン名	開催場所	実施団体名	開催回数	参加人数
菅野	菅野地区ふれあいサロン	菅野公民館	菅野地区社協	年間6回	52
	仁野ハッピースマイル会	仁野福祉会館	仁野ハッピースマイル会	毎月1回	20
	大塔タンポポ	大塔集会所	大塔タンポポ	毎月1回	81
上川辺	上川辺地区ふれあいサロン	上川辺公民館	上川辺地区社協	概ね月1回	108
	ふれあいサロン三郎丸	三郎丸集会所	ふれあいサロン三郎丸	毎月1回	130
	大蔵ふれあいサロン睦会	大蔵集会所	上川辺地区社協	毎月1回	126
市	市地区ふれあいサロン	市公民館	市地区社協	概ね月1回	107
	平なごみ会	平集会所	なごみ会	概ね月1回	78
	すみれ会江国	江国公会堂	すみれ会	毎月1回	168
河内	河内地区ふれあいサロン	河内公民館	河内地区社協	概ね月1回	198
	大田ふれあいサロンひまわり	いきいきサロン大田	大田地区	毎月1回	141
今津野	きらく会	今津野公民館	今津野地区社協	概ね月1回	193
	サロンうぐいす	川西集会所ほか	今津野地区社協	毎月1回	98
綾目	綾目ふれあいサロン	綾目公民館	綾目地区社協	概ね月1回	35
	まんさく	上小山田集会所	上小山田振興区	毎月1回	0
大和	大和地区ふれあいサロン	大和公民館	大和地区社協	毎月1回	99
	下山田ふれあいサロン	下山田集会所	下山田振興区	毎月1回	45
全域	にこにこサロン	市公民館	にこにこサロン	毎週1回	129

〔向島地域でのふれあいサロン開催状況〕

(名)

地区名	サロン名	開催場所	実施団体名	開催回数	参加人数
兼吉	兼吉サロン	兼吉やすらぎ荘他	兼吉地区社協	毎月1回	0
江奥	文化サロン絵手紙	植條公民館	江奥地区社協	毎月1回	698
	文化サロン囲碁	柏原公民館	江奥地区社協	毎週2回	
	文化サロン書道	奥山公民館	江奥地区社協	毎月2回	
	イキイキ広場	江奥公民館	江奥地区社協	毎月1回	171
	紫竹会の集い	柏原公民館・奥山公民館 ・烏帽子公民館	江奥地区社協	概ね月1回	16
東富浜	東富浜1・2区にこやかふれあいサロン	東富浜公民館	東富浜1区、 2区地区社協	年間6回	28
	東富浜3区いきいきサロン	東富浜3区コミュニティセンター	東富浜3区地区社協	毎月1回	0
小歌島	さざなみ	小歌島公民館	小歌島地区社協	毎月1回	0
中富浜	ふれあいいきいきサロン「なかよし会」	中富コミュニティセンター	中富浜地区社協	毎月1回	382
西富浜	西富浜サロン	西富浜公民館	西富浜地区社協	毎月1回	237
田尻	田尻いきいきサロン和楽	田尻公民館	田尻地区社協	毎月1回	0
土井	いきいきサロン土井	土井公民館	土井地区社協	毎月1回	0
宇立	宇立いきいきサロン	宇立公民館	宇立地区社協	毎月1回	181
	サロンなかよしこよし	宇立公民館	宇立地区社協	毎月1回	148
有道	有道いきいきサロン	有井公民館	有道地区社協	毎月1回	0
津部田	津部田地区ふれあいいきいきサロン	津部田コミュニティセンター	津部田地区社協	毎月1回	133
岩子島	めだかの学校	めだかの学校	めだかの学校	月火水金	601
立花	立花いきいきサロン	立花公民館	立花地区社協	毎月1回	87

〔因島地域でのふれあいサロン開催状況〕

(名)

地区	サロン名	開催場所	実施団体名	開催回数	参加人数
土 生	へんろ茶屋	へんろ茶屋	ボランティア楽生会	ほぼ毎日	5,488
	脳刺激さくら会	土生公民館	ボランティアさくら会	毎月1回	0
	語ろう会	安郷区民館	安郷区老人会	毎月1回	72
	塩東すみれ会	いきいきサロン土生南	塩東区女性会	毎月1回	115
	すずの会	郷区会館	すずの会	毎月1回	124
	ふれあいサロン・ニコニコ会	江の内区県営住宅集会所	ふれあいサロン・ニコニコ会	毎月1回	119
	土生健康サロン	土生公民館	土生健康サロン	毎月2回	419
田 熊	さわやかホーム	田熊公民館	田熊地区社協	毎月1回	300
	サロンすみれ会(田熊)	田熊公民館	因島地区田熊愛育会	毎月1回	173
	ひよこ会	竹長区民会館	ボランティアひよこ会	毎月2回	306
	サロン絆	金山区民館	サロン絆	毎月1回	119
	サロンなごみ	西区区民館	サロンなごみ	毎月1回	156
三 庄	三庄サロン	三庄公民館	三庄サロン	毎月1回	214
	サロン椋浦	いきいきサロン椋浦	三庄地区社協	毎月1回	73
	千守サロン	千守地藏堂	三庄地区社協	毎月1回	199
	8区愛互会サロン	8区会館	三庄町8区	毎月1回	88
	九区サロン	九区会館	九区サロン	毎月1回	142
中 庄	ふれあいサロン「たんぼぼ」	中庄公民館	保健推進員	毎月1回	349
	ふれあいサロンあじさい	中庄町新開研修所	ふれあいサロンあじさい	偶数月	224
	西浦地区ポプラの会	因島西浦ふれあい館	西浦地区ポプラの会	毎月1回	77
	ふれあいサロンコスモス会	蘇功区民館	ふれあいサロンコスモス会	偶数月	167
	ふれあいサロン丸池	丸池集会所	ふれあいサロン丸池	偶数月	152
	サロン外浦	外浦町集会所	サロン外浦	偶数月	52
	サロン室陣	室陣集会所	サロン室陣	毎月2回	267
重 井	喜楽会	重井公民館	重井地区社協	毎月1回	96
	つどいの家	重井公民館	重井地区社協	毎月1回	125
	すこやかサロン	因島ふれあいセンター	すこやかサロン	毎月1回	75
大 浜	ラビット	大浜公民館	大浜地区社協	毎月1回	85
	大浜おしゃべり会	大浜公民館	大浜地区社協	毎月2回	154
東生口	東生口地区カモメ会	因島洲江ふれあい館	東生口カモメ会	毎月1回	59
	レディサロン	いきいきサロン東生口	東生口地区保健推進員	毎月1回	71
	ドリームサロン	いきいきサロン東生口	ドリームの会	毎月2回	108

〔瀬戸田地域でのふれあいサロン開催状況〕

(名)

地区	サロン名	開催場所	実施団体名	開催回数	参加人数
名 荷	いきいきサロン名荷	名荷公民館	名荷地区社協	毎月1回	0
林	いきいきサロン	林公民館	林地区社協	毎月1回	171
中 野	つくし会	中野集会所	中野地区社協	毎月1回	26
鹿田原	鹿田原ふれあいサロン	鹿田原集会所	鹿田原地区社協	毎月1回	0
沢	沢ふれあいサロン	沢公民館	沢地区社協	毎月1回	0
瀬戸田	微助っ人	瀬戸田光照苑	瀬戸田地区社協	毎月1回	0
高 根	高根ふれあいサロン	高根潮香園	高根地区社協	毎月1回	0
福 田	港福いきいきサロン	福田たちばな荘	福田地区社協	毎月1回	41
垂 水	なでしこ会	垂水垂幸園	垂水地区社協	毎月1回	23
田高根	ふれあいなぎさサロン	田高根なぎさ園	田高根地区社協	毎月1回	0
荻	荻 福々会	荻南風園	荻地区社協	毎月1回	70
宮 原	ほのぼの会	宮原開発センター	宮原地区社協	毎月1回	0
御 寺	レインボー	御寺母子センター	御寺地区社協	毎月1回	115
瀬戸田	喫茶 ショロン	喫茶ショロン	ボランティア元気会	毎週2回	0

(3) 生活福祉資金貸付事業

広島県社会福祉協議会との連携により、低所得者、高齢者、障害者等の自立を目的として、必要な相談支援および生活福祉資金の申請を受け付けた。また、複合的な課題を抱え、貸付のみでは解決に至らない相談者に対しては、生活困窮者自立支援事業と連携し、相談者に適切な支援を提供することに努めた。

特に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による支援策の一つである、「生活福祉資金特例貸付」は、令和2年3月25日に受付開始以降、多数の相談及び申請があった。相談者に対しては、状況の聞き取りや手続きなど丁寧に対応し、制度の適切な運用に努めた。また、貸付申請時の相談だけでなく、貸付期間中及び貸付終了後も、コロナ禍生活支援通信の発信や貸付終了者向け相談会を実施する等、一定期間の状況確認や制度の周知に取り組んだ。

相談件数	2,044件(1,914件)
申請件数	892件(877件)

()内は新型コロナウイルス感染症拡大防止に関連する特例貸付分の件数

(4) 福祉サービス利用援助事業「かけはし」

障害などによって判断能力が不十分な方に対して、福祉サービス利用手続きの援助や代行、日常的な金銭管理の援助、通帳の預かり等の支援をした。関係機関にもこの事業が周知され、役割の重要性が期待されてきている。

専門員、生活支援員のスキルアップを図るため、例年「生活支援員等スキルアップ研修」へ参加してきたが、当該研修はコロナ禍により中止となった。

今後も複雑な問題を抱えた相談や世帯支援の必要性も考えられるため、一人ひとりにあった支援を迅速に提供し、関係機関との情報交換や支所との連携を深め、契約締結審査会等も有効に活用して相談機能を強化していく。

① 相談・支援状況 (令和3年3月末現在)

問い合わせ・契約者対応件数・・・6,837件			
契約終了者	新規契約者	利用者(内生活保護)	生活支援員
14名	8名	61名(16名)	26名
利用者内訳	認知症12名、知的障害27名、精神障害18名、その他4名 旧尾道地域33名、御調地域5名、向島地域7名、因島地域13名、瀬戸田地域3名		

② 研修会等

○ 職員研修等

開催日	内 容	参加者
7月30日(木)	かけはし専門員連絡会議(広島県社協主催)	2名
9月30日(水)	令和2年度相談援助技術向上研修(広島県社協主催) (かけはし専門員研修)	3名

(5) 法人後見事業

法人後見人として4件受任。成年被後見人が安心して生活が送れるよう支援を進めている。

ア 受任件数

補助	保佐	後見	法人後見支援員
0名(件)	1名(件)	3名(件)	6名
利用者内訳	認知症高齢者1名、知的障害者2名、その他1名 旧尾道地域2名、向島地域1名、因島地域1名		
延べ支援回数	専門員：銀行支援回数47回、訪問回数62回、電話対応回数124回、ケア会議・同行・窓口対応等147回、死後事務1件 支援員：銀行支援回数32回、訪問回数28回、電話対応回数0回、ケア会議・同行・窓口対応等0回		

イ 新規受任件数・終了件数

内訳	後見等新規受任件数(件)				後見等終了件数(件)				終了理由
	後見	保佐	補助	計	後見	保佐	補助	計	
	0	0	0	0	1	0	0	1	

ウ 研修会等への参加

関係機関との連携やスキル向上のため、次の研修会や会議等に参加した。

- ・ 成年後見利用促進体制事業 中核機関体制整備に向けた市町研修会

(6) 認知症高齢者見守り事業

在宅で暮らす認知症高齢者や介護している家族等に対し、専門的な知識をもつやすらぎ支援員を派遣し支援する事業。地域包括支援センターや居宅介護支援事業所と連携し、支援を必要としている人に情報が伝わるよう事業の周知を図った。ニーズに合わせた支援を行うことで信頼関係を築き、利用者本人の生きがいづくり、家族の心身のリフレッシュにつながった。また、やすらぎ支援員研修会を開催し支援員のスキルアップを図るとともに、やすらぎ支援員養成講座を開催し新たな支援員の拡充を図った。併せて、2カ月に1回偶数月に在宅介護者の集いを開催した。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月末までやすらぎ支援員の訪問活動や在宅介護者の集い、研修会等の開催を自粛したが、その間、認知症事業だより等の発行を通してつながりを絶やさないよう取り組んだ。また、6月からの訪問再開にあたっては、「訪問にあたっての遵守項目」を提示し、感染防止対策等を講じた上で訪問していただくよう周知徹底した。

区分	旧尾道	向島	御調	因島	瀬戸田	合計
年間利用者数(人)	56	11	6	16	8	97
年間活動実績回数	592	61	52	125	68	898
登録やすらぎ支援員(人)	58	19	11	18	12	118

① やすらぎ支援員研修会

開催日	場 所	内 容
12月4日(金)	総合福祉センター	内観療法で「ほんとうの私」と出会う ～あなたの人生を変える3つの問いかけ～ 講師：川崎医療福祉大学教授 医学博士 笹野友寿さん 参加者 43名

② やすらぎ支援員養成講座

開催日	場 所	内 容
9月16日(水)	総合福祉センター	「尾道市の高齢者の現状と課題」 講師：尾道市高齢者福祉課 「認知症高齢者見守り事業とは」 講師：尾道市社協地域福祉課 参加者 20名
9月23日(水)	総合福祉センター	「回想法」 ～懐かしい記憶から引き出す生きがい、生きる力～ 講師：神戸女子大学健康福祉学部社会福祉学科教授 津田理恵子さん 参加者 20名
9月30日(水)	総合福祉センター	「認知症の基礎知識」～認知症の理解・接し方・予防～ 講師：尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会 参加者 19名
10月7日(水)	総合福祉センター	「事例発表」～やすらぎ支援員として活動して～ 講師：やすらぎ支援員 「登録について」 講師：尾道市社協地域福祉課 参加者 21名

③ 在宅介護者の集い

開催日	場 所	内 容
6月23日(火)	総合福祉センター	「緊急事態宣言中の在宅での過ごし方について」 意見交換・交流会 参加者 11名
8月25日(火)	総合福祉センター	「在宅介護で知っておきたいこと」 ～主な高齢者住宅や施設の種類と概要について～ 講師：尾道市西部地域包括支援センター 住田さん 参加者 19名
10月27日(火)	総合福祉センター	「在宅介護を支えるサービスについて」 ～住み慣れた自宅で暮らし続けるために～ 講師：尾道市西部地域包括支援センター 小林さん 参加者 20名
12月15日(火)	総合福祉センター	「思いのたけを話してみませんか！」 ～ひとりで頑張りすぎないために～ 参加者 15名
2月16日(火)	総合福祉センター	「一年間のふりかえり」 ～自分や家族の軌跡を振り返り、明日への活力にしまし よう～ 参加者 12名

【成果】

- ・ 新たなやすらぎ支援員を 15 名養成し、活動の幅を拡げることができた。
- ・ やすらぎ支援員が訪問を重ねることで笑顔のなかった利用者が支援員の訪問を楽しみに待つようになり、生きがい感の向上に繋がることできた。また、家族の話し相手として訪問し、介護者に心の余裕が生まれ笑顔が見られるようになった。
- ・ 2カ月に1回「在宅介護者の集い」を開催し、介護者の日頃のストレスを発散し、悩みや思いを打ち明け、自分自身の介護について振り返るよい機会となった。

【課題】

- ・ 認知症や傾聴の技法に関する研修会を継続的に開催し、やすらぎ支援員のスキルアップを図るとともに、その力をオレンジメイトとして認知症カフェ開設等の地域支援に繋げていく必要がある。
- ・ やすらぎ支援員やケアマネージャーとの連携、情報交換を密に行い、チームの一員としての視点をもてるよう、やすらぎ支援員を多面的にサポートしていく必要がある。
- ・ コロナ禍の中、やすらぎ支援員が安心して訪問活動ができるよう、引き続き細やかな連携と情報発信をおこなっていく必要がある。

（7）認知症サポーター養成事業

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指し、「認知症サポーター養成講座」を開催。認知症について正しく理解し認知症の人やその家族を見守り支援する「認知症サポーター」が 501 名誕生し、市内の認知症サポーターは合計 19,139 名となった。また、各学校においても認知症サポーター養成講座に取り組み、243 名の学生サポーターが新たに誕生し、市内の学生サポーターは合計 5,478 名となった。

講座開催に向けては、その講師役となる「キャラバン・メイト」の連絡会を定期的に開催し、コロナ禍の中、三密にならない等感染防止対策を徹底した講座内容を検討した。

年間 20 講座を開催し、そのうち年間 9 講座に寸劇やロールプレイを取り入れ、「尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会」「尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会因島グループ」としてチームで講座を担当し、受講者の心に響く講座となるよう工夫した。また、オレンジカフェの開催やおのみち見守り訓練、オレンジネットワーク会議、オレンジカフェ交流会等に参加した。

認知症サポーター養成講座終了後には、おのみち見守りネットワーク徘徊等 SOS 情報メールや尾道市認知症サポーターのステッカーについて発信し、認知症の理解、普及啓発に努めた。また、『オレンジメイト』への登録を呼びかけ、年間 23 名の登録があり累計 280 名（2 名登録抹消）となった。オレンジカフェ等の活動に繋がっている。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5 月末まで認知症サポーター養成講座の開催等キャラバン・メイトの活動を自粛したが、その間、認知症事業だより等の発行を通してつながりを絶やさないよう取り組んだ。また、6 月からの活動再開にあたっては、感染防止対策等を講じた上で活動していただくよう周知徹底した。

また、令和 3 年度からは認知症サポーター養成講座のテキストを無料（現在 1 冊 100 円）配布とし、認知症サポーターの目印であるオレンジリングはオレンジカードへと変更となる。

① 認知症サポーター養成講座

尾道市内 20 カ所で開催（参照「開催一覧表」）

② キャラバン・メイト連絡会

開催日	内 容	参加者
6月11日(木)	各地域でのキャラバン・メイトの取り組み、新しい生活様式における認知症サポーター養成講座実施について、役員改正	13名
6月26日(金)	総会内容等について	7名
7月9日(木)	総会、今後の活動予定について	17名
8月20日(木)	各地域でのキャラバン・メイトの取り組み、実施済み講座の振り返り、今後の活動予定、チームオレンジの取組について	14名
9月10日(木)	実施済み講座の振り返り、今後の活動予定、A-QOA 研究のための寸劇映像撮影（県立広島大学より）の依頼について	10名
10月8日(木)	キャラバン・メイトの取り組み、実施済み講座の振り返り、今後の活動予定、チームオレンジチューター研修について	14名
10月20日(火)	寸劇練習（A-QOA 撮影に向けて）	10名
11月12日(木)	キャラバン・メイトの取り組み、実施済み講座の振り返り、今後の活動予定、A-QOA 寸劇映像撮影の依頼について	11名
12月10日(木)	実施済み講座の振り返り、今後の活動予定、令和3年度のテキスト・オレンジリングについて	11名
1月14日(木)	キャラバン・メイトの取り組み、実施済み講座の振り返り、今後の活動予定、A-QOA 寸劇映像撮影台本の読み合わせ	11名
1月21日(木)	寸劇練習（A-QOA 撮影に向けて）	11名
2月8日(月)	県立広島大学作業療法学科長や助教授等と A-QOA 研究のための寸劇映像撮影連携会議、寸劇練習（A-QOA 撮影に向けて）	14名
2月18日(木)	各地域でのキャラバン・メイトの取り組み、実施済み講座の振り返り、今後の活動予定について	11名
3月11日(木)	キャラバン・メイトの取り組み、実施済み講座の振り返り、今後の活動予定、チームオレンジの取り組みについて	14名
3月17日(水)	寸劇練習（A-QOA 撮影に向けて）	9名
3月25日(木)	寸劇練習（A-QOA 撮影に向けて）	7名

【因島グループ】

開催日	内 容	参加者
6月22日(月)	令和元年度の振り返り、今年度の活動について	7名
8月24日(月)	今年度の講座内容、今後の活動予定について	7名
9月25日(金)	実施済み講座の振り返り、今後の講座について	4名
11月10日(火)	実施済み講座の振り返り、今後の講座について	7名
3月23日(火)	令和2年度の振り返り、来年度の活動について	5名

③ 認知症サポーター認定所

認知症サポーター養成講座を実施していただいた小売店や事業所、認知症サポーターが経営する個人商店を認知症サポーター認定所として登録し、ホームページに掲載。

登録認定所数：191カ所

【成果】

- ・ ふれあいサロンや地域、職域、学校等で認知症サポーター養成講座を開催し、認知症について正しい理解を深めることができた。
- ・ 特にコロナ禍の中、広く一般向けに開催した講座では多くの参加があった。
- ・ 尾道市認知症キャラバン・メイト連絡会としてチームで講座を担当し、心に響く講座を実施することができた。

【課題】

- ・ 町内会等きめ細かい認知症サポーター養成講座を開催し、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを推進していく必要がある。
- ・ 各学校での講座を積極的に働きかけ、子どもの時から認知症について正しく理解し、高齢者を敬う心を養っていく必要がある。
- ・ 「オレンジメイト」のスキルアップを図り、認知症カフェなど地域での活動に結び付くよう働きかけていく必要がある。
- ・ コロナ禍の中、キャラバン・メイトが安心して活動ができるよう、引き続き細やかな連携と情報発信を行っていく必要がある。

【認知症サポーター養成講座 開催一覧】

回	地区	開催日	開催団体	開催場所	劇	参加人数*		キャラバン・メイト
1	尾	7月17日(金)	久保さくら会	いきいきサロン久保	×	39	10	松山慎太郎
2	尾	8月26日(水)	尾道会場	尾道市総合福祉センター	×	31	20	小林富美子
3	因	9月25日(金)	因島図書館	尾道市立因島図書館	○	11	7	連絡会(因島G)
4	尾	9月30日(水)	やすらぎ支援員養成講座	尾道市総合福祉センター	×	19	7	岡野和子
5	尾	10月5日(月)	生協ひろしま尾道市所	生協ひろしま尾道市所	×	33	31	川原奨二
6	因	10月20日(火)	ラビット	大浜公民館	○	16	8	連絡会(因島G)
7	尾	10月22日(木)	(株)ゆず	グループホームゆずっこ	×	5	4	川原奨二
8	因	10月24日(土)	因島医師会ピロードカフェ	因島医師会ピロードの丘	○	80	69	連絡会
9	向	11月4日(水)	高見小学校5年生	高見小学校	○	20	12	連絡会
10	因	11月5日(木)	さわやかホーム	田熊公民館 大講堂	○	37	20	連絡会(因島G)
11	尾	11月9日(月)	古江浜老人会共楽会	向東古江浜公民館	○	22	11	連絡会
12	因	11月10日(火)	因島高等学校3年生	因島高等学校 特別棟4階	○	16	8	連絡会(因島G)
13	尾	11月19日(木)	尾道会場	尾道市総合福祉センター	×	42	25	河原順子
14	御	11月20日(金)	御調中央小学校6年生	尾道市御調体育センター	○	55	48	連絡会
15	尾	11月30日(月)	高須小学校5年生	高須小学校体育館	○	144	136	連絡会
16	尾	12月22日(火)	西藤のつどい	福田ふれあい館	×	23	2	小林富美子

17	尾	1月9日(土)	広島県立尾道北高等学校1~3年生	広島県立尾道北高等学校	×	53	52	木宮高代
18	尾	1月19日(火)	広島銀行尾道栗原支店	広島銀行尾道栗原支店	×	13	3	河原順子
19	尾	2月19日(金)	ケアホーム長江	グループホーム長江	×	26	24	松山慎太郎
20	尾	2月25日(木)	石畦ふれあいサロン	石畦ふれあいサロン	×	11	4	松山慎太郎
				計		9	696	501

注. *参加人数の左は全数、右は内数で初めて参加した人数

(8) 認知症カフェ推進事業

昨年度末までに24カ所の認知症カフェが開設、今年度は新規開設が1カ所あり、合計25カ所が開設している。主催者内訳は、地域住民主催が15カ所、介護事業所主催が5カ所、医療機関主催が5カ所となる。

年間111回の認知症カフェを開催し、合計2,242名の参加があった。その内、1,711名が実績助成金交付対象者に該当し、一人当たり100円の実績助成金を交付した。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月末まで認知症カフェの開催を自粛したが、その間「再開にあたってのアンケート」を依頼し集約した情報を全カフェに発信(年間3回)した。また、年間4回の認知症事業だよりを発行し、つながりを絶やさないよう取り組んだ。6月からのカフェ再開にあたっては、「再開にあたっての遵守項目」を提示し、感染防止対策等を講じた上で訪問していただくよう周知徹底し、今年度再開できたカフェは25カ所の内16カ所である。

① 認知症カフェへの支援

ア 新規認知症カフェの立ち上げ支援

開設検討会議等を開催し、今年度、因島圏域に「歌声カフェ」の1カ所が新規開設。また開設に向けて、北部圏域の「ひかりカフェ三成」、中央圏域の久保地区、東部圏域の「駅かふえ」、向島圏域の「オレンジカフェ天女浜」、古江浜地区の5カ所で開設検討会議を開催中。

名称	開設日	開催日	会場
歌声カフェ	10/13(火)	第2火曜日	ご近所さんカフェ(村上宅)

イ 既存認知症カフェの支援

年間39回各認知症カフェに出向き、カフェの運営や反省会等、開設運営方法等についての側面支援を行った。また、参加者の緊急時への対応として「カフェ安心カード」を紹介し、主催者や参加者の安心・安全につながっている。

② 認知症カフェ運営推進会議

開催日	内容	参加者
1月15日(金)	オレンジカフェ福祉センター・友 運営推進会議 内容：今後のカフェの取組について	13名

③ 認知症カフェ交流会

開催日	内 容	参加者
3月16日(火)	尾道市オレンジカフェ交流会 内容：尾道市認知症カフェの現状について 事例紹介、質疑応答、意見交換 会場：尾道市総合福祉センター4階 大会議室	40名

④ 認知症カフェ連絡会

開催日	内 容	参加者
6月10日(水)	向島圏域オレンジカフェ連絡会 内容：カフェ再開にむけての検討会議、意見交換・交流会 会場：愛あいセンター2階 第2会議室	16名

⑤ 認知症カフェ再開検討会議

開催日	内 容	参加者
6月25日(木)	第1回オレンジカフェむかいしま愛あい・オレンジカフェ むかいひがし カフェ再開検討会議 内容：カフェ再開について 意見交換 会場：愛あいセンター2階 第2会議室	16名
9月24日(木)	第2回オレンジカフェむかいしま愛あい・オレンジカフェ むかいひがし カフェ再開検討会議 内容：カフェ再開について 意見交換 会場：愛あいセンター2階 第2会議室	15名
10月19日(月)	第3回オレンジカフェむかいしま愛あい・オレンジカフェ むかいひがし カフェ再開検討会議 内容：カフェ再開について 意見交換 会場：愛あいセンター2階 第2会議室	14名
3月5日(金)	耳をすませて再開打合せ 内容：カフェ再開について 意見交換 会場：市公民館	10名

【成果】

- ・ 地域住民主権の認知症カフェは、認知症の方やその家族が居心地良くくつろげる場として、また虚弱・閉じこもりがちな人の居場所として、認知症をキーワードとした認知症の人にやさしい地域づくりの発信の場となっている。さらに、軽度認知症と思われる人に支援者が早く出会う場となっている。
- ・ 医療介護の専門職主催による認知症カフェでは、その強みを活かした勉強会や相談機能の充実が図られている。
- ・ 認知症カフェ交流会を通して、コロナ禍の中での運営方法等について他のカフェの事例に学び、改めて運営、再開について考える良い機会となった。
- ・ 細やかな情報発信や連携が、各カフェの運営士気を高めることにつながった。
- ・ 各圏域の地域包括支援センターとの連携が、充実した認知症カフェ開催に繋がっている。

【課題】

- ・ 地域住民主催、専門職主催といった主催者別や圏域別の研修会を細やかに開催し、認知症カフェの意義や目的、コロナ禍における運営方法等の共有を図っていく必要がある。
- ・ 認知症カフェの新規立ち上げにつなげるため、オレンジメイト等に働きかけていく。

[認知症カフェ開設一覧]

(名)

番号	カフェの名称 (主催団体)	開催日時	開催場所 (住所)	参加 人数
		参加費		
①	オレンジカフェ長江 (明德町内会・ケアホーム長江)	第3日曜日 10:00~12:00	ケアホーム長江1階 (尾道市長江二丁目7-8)	0
		100円		
②	菜の花カフェ (オレンジメイト菜の花)	第4月曜日 10:00~12:00	小林宅 (尾道市高須町3794)	54
		100円		
③	とまり木カフェ (公立みつぎ総合病院地域包括連携室尾道市北部地域包括支援センター)	第4火曜日 13:30~15:30	御調保健福祉センター2階和室 (尾道市御調町市107-1)	133
		100円		
④	オレンジカフェ商店街 (尾道市認知症の人と家族の会)	第2金曜日 13:00~15:00	商店街サロン(もりあげ隊内) (尾道市土堂二丁目3-29)	107
		100円		
⑤	オレンジカフェむかいしま♥愛あい (オレンジメイト♥愛あい)	第4木曜日 10:00~12:00	向島愛あいセンター第1会議室 (尾道市向島町5888-1)	174
		100円		
⑥	オレンジカフェ福祉センター・友 (オレンジメイト・友)	第2水曜日 13:30~15:30	尾道市総合福祉センター2階 (尾道市門田町22-5)	256
		100円		
⑦	シニア・カフェ西しんがい (高須町西新涯町内会)	第2金曜日 13:30~15:30	高須町西新涯町内会集会所 (尾道市高須町西新涯)	0
		100円		
⑧	こころカフェ (医療法人社団はっぴねす)	第2木曜日 13:00~14:30	こころ尾道駅前クリニック6階 (尾道市土堂一丁目11-6)	117
		100円		
⑨	オレンジカフェむかいひがし (オレンジメイトむかいひがし)	第3月曜日 10:00~12:00	向東公民館分館 会議室 (尾道市向東町8670-2)	215
		100円		
⑩	やすらぎカフェ (尾道市医師会 介護老人保健施設 やすらぎの家)	月1回(不定期)	やすらぎの家 家族介護教室 (尾道市久保町1718)	0
		無し		
⑪	ボランティア喫茶『ショロン』 (ボランティア元気会)	第4金曜日 13:00~15:00	ボランティア喫茶 ショロン (尾道市瀬戸田町瀬戸田256)	78
		無し		
⑫	オレンジカフェびんご俱樂部びんご茶屋 (有)ブレイクスルー びんご俱樂部)	第3土曜日 13:30~15:30	びんご俱樂部 (尾道市因島三庄町3472)	58
		100円		

⑬	因島医師会ビロードカフェ (一社)因島医師会)	第3もしくは第4土曜日 13:30~15:00	ビロードの丘2階研修室 (尾道市因島中庄町1955)	361
		100円		
⑭	耳をすませて (オレンジメイト茶話駄)	第2火曜日 13:30~15:00	茶話駄宅 (尾道市御調町貝ケ原72-2)	0
		100円		
⑮	オレンジカフェおお〜いで (星の里・今津野の家)	第4金曜日 10:00~11:30	星の里・今津野の家 (尾道市御調町津蟹611-4)	0
		100円		
⑯	きららカフェ (きららラポール尾道)	第3水曜日 13:00~14:30	きららラポール尾道 (尾道市十四日町59-8)	0
		100円		
⑰	かぐら 浦崎カフェ (オレンジメイトかぐら)	第1火曜日 10:00~11:30	浦崎公民館 (尾道市浦崎町2102-5)	136
		100円		
⑱	しまの輪カフェ (しまの輪会)	第2土曜日 13:30~15:30	彩りの家 (尾道市因島中庄町717-1)	90
		100円		
⑲	喫茶かたふじ (オレンジメイトかたふじ)	第2月曜日 13:30~15:00	いきいきサロン高根 潮香園 (尾道市瀬戸田町高根595)	0
		100円		
⑳	オレンジカフェこれから (オレンジメイト岩子島)	第3月曜日 13:30~15:30	めだかの学校 (尾道市向島町岩子島1498-1)	123
		100円		
㉑	ひかりカフェ (福)原田ヒカリ会 高齢者総合ケアセンター ひかり苑)	第4水曜日 14:00~15:30	ひかり苑 リラックスルーム (尾道市原田町梶山田3609)	91
		無し		
㉒	カフェ「集」 (医療法人社団 精彩会)	第3土曜日 13:30~15:00	地域ネットワークコミュニティ「集」 (ニチエー三成店敷地内)	0
		100円		
㉓	オレンジカフェひだまり (オレンジメイトひだまり)	第1木曜日 13:30~15:00	江奥コミュニティセンター(ひだまり交流館) (尾道市向島町1919-2)	134
		100円		
㉔	オレンジカフェみにみに (オレンジメイトみにみに)	第3水曜日 10:00~11:30	(もと)喫茶ミニミニ (尾道市向東町2218-2)	0
		100円		
㉕	歌声カフェ (ご近所さんカフェ)	第2火曜日 13:30~15:00	ご近所さんカフェ (村上宅) (尾道市因島重井町2941)	115
		100円		

※ 令和3年3月末現在／開設の早い順に記載

(9) 住民参加型ふれあいサービス事業

暮らしの中で、ちょっとした困りごとのある人（利用会員）とお手伝いできる人（サービス会員）が、近所同士でお互いに会員となり、お互いさまの気持ちで支え合う地域づくりを目指し、「住民参加型ふれあいサービス」を推進した。利用会員とサービス会員が、直接利用料を授受することとし、利用料は1時間700円、登録料は年間500円である。介護保険ではカバーしきれない家事援助（掃除、調理等）、外出支援、話し相手等の利用が多かった。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月は通院介助以外のサービスは中止とした。6月から活動を再開したが、感染の不安があり、引き続き利用や活動を控える会員もいた。

コロナ禍でも新規利用の相談は多くあり、サービス会員が充足できないケースがあったため、新規サービス会員の養成講座を行った。6名が新しく会員登録され、活動を開始した。

① ふれあいサービス運用状況

サービス会員登録者	127名	サービス回数	延2,262回
利用会員登録者	275名	サービス時間	延3,124時間

② ふれあいサービスサービス会員養成講座

開催日	内 容	参加者
9月1日(火) 10:00~11:30	「高齢者の現状と課題」 講師：西部地域包括支援センター野田知子 「在宅サービスを行う心構え」 講師：尾道市社会福祉協議会ヘルパー	8名
9月8日(火) 10:00~11:30	「ふれあいサービスについて」 「サービス会員体験談」 「会員登録」	4名

(10) 介護器具等の貸し出し事業

介護保険の対象にならない方や障害者福祉制度の給付対象にならない方、盆や年末年始などで一時退院される方、旅行などで一時使用される方などに介護器具の貸し出しを行った。

器具の種類	本 所	御 調	向 島	因 島	瀬戸田	計
車椅子	81	29	42	6	30	188
ポータブルトイレ	10		20			30
チャイルドシート	0		2	3	3	8
つえ	2	1				3
計	93	30	64	9	33	229

(11) 福祉総合相談事業

専門相談（弁護士、元調停委員、司法書士、元公証人を毎月各1回）を実施した。毎週月曜日はボランティアコスモスによる心の悩みごと相談を実施。日常的には、本会職員が本所及び各支所で、市民の困り事や福祉相談に応じている。

〔福祉総合相談の実績〕

〔専門相談の実績〕

相談事項		件数	相談件数明細	
			電話(件)	来訪(件)
暮らし・住まい	生計	0	0	0
	日常生活	0	0	0
	年金	0	0	0
	職業・生業	0	0	0
	住宅	0	0	0
家族	家族	9	3	6
	離婚	2	0	2
健康・医療	健康、衛生	0	0	0
	精神保健福祉	0	0	0
法律	人権、法律	4	0	4
	財産	70	0	70
	事故	0	0	0
福祉・教育	児童福祉・母子保健	0	0	0
	教育・青少年	0	0	0
	心身障害者（児）	0	0	0
	母子・父子福祉	0	0	0
	高齢者福祉	0	0	0
	社会参加	0	0	0
社協事業	生活福祉資金	2,044	143	1,901
	かけはし	31	27	4
	やすらぎ支援	43	40	3
	ふれあいサービス	124	63	61
	成年後見	0	0	0
	その他の社協事業	0	0	0
その他		0	0	0
合計		2,327	276	2,051

内訳	弁護士相談	60件
	司法書士相談	9件
	元調停委員相談	2件
	元公証人相談	5件
	合計	76件

心の悩みごと相談	19件
----------	-----

コスモス会員スキルアップ研修を毎年開催しているが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修会の開催は中止した。

(12) 生活困窮者自立支援事業

さまざまな理由により経済的な面で生活に困っている方、働きたいけど働けない等不安を抱えている方の自立に向けた相談支援を行うため専門の相談員を配置。経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方を、関係機関と連携しながら生活の安定と自立に向けた自立相談支援、家計改善支援を実施した。

また、本年はコロナ禍による生活福祉資金特例貸付と連携した相談支援を実施した。

相談対応実績		年間合計
相談対応件数（延べ件数）		6,138
（内訳）	電話相談・連絡	1,549
	訪問・同行支援	452
	面談	2,295
	その他他機関との会議（支援調整会議以外）	647
	他機関との電話照会・協議	
	その他	1,195
所内会議		21
支援調整会議（プラン策定及び評価実施）		9
新規相談受付件数（総数）		629
プラン作成件数（総数）		11
就労支援対象者数（プラン期間中の一般就労を目標にしている）		4
法に基づく事業等 利用件数	住居確保給付金	50
	一時生活支援事業	0
	家計相談支援事業	7
	就労準備支援事業	0
	就労訓練事業	0
	自立相談支援事業による就労支援	4
その他	生活福祉資金等による貸付	1,001
	生活保護受給者等就労自立促進事業	3
就労者数（一般就労総数）		38
うち就労支援対象プラン作成者分		4

【成果】

- ・ 今年度の新規相談対応件数は、629件であった。生活困窮者の置かれた状況に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施した。自立支援事業においては、経済的な面だけでなく、長く失業している方や働いた経験の無い不安な方へ、ハローワークと連携し就労支援を行った。
- ・ プラン作成や就労相談の結果、38名の就労が決定した。税金の滞納や債務の返済を計画的にできていない方に対して債務整理のため弁護士事務所への同行支援や家計改善支援プランを作成し、継続的に支援を行った結果、定期的な返済が可能となった。また、家計管理が困難な方には福祉サービス利用援助事業「かけはし」へ繋ぎ、連携した支援を行い適切な家計管理をすることができた。
- ・ ひきこもりの相談者に対しては、人と関わることから始める「なごやかカフェ」を傾聴ボランティアコスモスとの協働実施で偶数月に開催した。また、女性に限定した居場所

支援として、女性ならではの悩みや情報交換の場として「女子会」を定期開催した。両事業とも参加人数にこだわるのではなく、一人一人の相談者が確実に人とのつながりや自己肯定感を高め主体的に参加することができるよう、相談者のペースに合わせた内容で実施した。その結果、同じような状況・環境の仲間づくりのきっかけとなり、職員による直接支援だけでは生まれない効果も出てきており、就労決定数にも徐々に反映してきている。

- ・ その他、緊急一時的な食糧支援やフードバンク事業により、危機的な状況を回避し、生活の立て直しにつながった。
- ・ なお、くらしサポートセミナーについては、コロナ禍の影響を考慮し、今年度については開催を中止した。

【課題】

- ・ 当初予定していた各民生委員会などへ広報活動が、コロナ禍の影響で実施できなかった。代わりに市の広報や社協だよりでの広報活動等に取り組んだ。ただ、まだ広報活動が十分とは言い切れないため、今後も様々な手法による広報活動に取り組んでいく必要がある。
- ・ また、複合的な課題を抱えた相談者や困難な事例に対応できるよう相談員のスキル向上や相談員間での情報共有を徹底し、職員の資質の向上を目指す必要がある。
- ・ 相談件数が増加の一途を辿っているため、職員の負担軽減を図る必要がある。そのためには、これまで以上の多機関との連携体制を早期に構築する必要がある。

【研修・その他】

- ・ 令和2年度相談援助技術向上研修（広島県社協主催）
- ・ 尾道市自殺対策推進委員会（計2回）（尾道市主催）

(13) 生活支援体制整備事業

高齢者の在宅生活をみんなで支える地域づくりとして、尾道市は生活支援体制整備事業を地域包括支援センターの圏域毎に委託し、内5圏域を本会が受託している。

各圏域に生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を配置し、地域のニーズや資源等の情報の取りまとめ、情報共有に努めたが、新型コロナウイルス感染症の影響で地域の活動がほとんど中止となったため、活動を縮小せざるをえなかった。このため、6月以降に活動を再開したサロン等に訪問し、地域住民との繋がりを図り、地域の支え合いの体制づくりを展開していくための基盤づくりを行った。また、平成30年7月の西日本豪雨災害の被災者支援を行っていた支え合いセンターと連携し、支え合いセンター閉所後の被災者への支援を地域にもしていただくよう取り組んだ。

西部圏域（日比崎地区社協、栗原北地区社協区域含む）では、西部・北部地域包括支援センターと連携し、引き続き栗原北地区の骨コツラジオ体操、歌声喫茶等の地域活動の支援や栗原・久山田地区の見守活動のサポートを行った。

南部（因島）圏域では、合併前の住民主体と医療、介護、警察等が一緒になって地域で暮らす高齢者の安心安全を守る連携団体であった「ケアネット因島」を母体に、令和2年6月頃に第2層協議体を立ち上げる予定にしていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で延

期することとなった。厳しい状況の中、最終確認会議を実施し「住民の皆さんが、挨拶し合えるまちづくり」をテーマに、令和3年3月に「ケアネットフォーラム因島」を立ち上げることが出来た。構成メンバーの中から、座長、副座長は、地域住民を選出し、高齢になっても在宅でいきいき暮らせる地域を目指し、住民主体の協議体としてスタートすることができた。

北部圏域（栗原北地区社協区域除く）では、地区社協、北部地域包括支援センター、御調保健福祉センター及び公民館と協働し、河内地区で、高齢者見守りネットワークに取り組んだ。全世帯へアンケートを行い、そのニーズから日常の見守り体制の構築を図り、自主防災組織と連携し、災害時の避難体制を確認した。

なお、木ノ庄西地区では、令和3年度から高齢者見守りネットワークに取り組むことが決定している。

中央圏域（日比崎地区社協除く）では、久保旭ヶ丘町内会で高齢者の見守りネットワークに取り組んだ。また、ふれあいサロンフレンド大宮を始め新高山老人クラブなど5ヵ所で地域づくりの講話を行い、事業推進に努めた。オレンジカフェ立ち上げの相談にも関わり、5月からの開催につながった。

南部（生口島・瀬戸田）圏域では、地域公益事業として、介護施設が高根地区の住民主体の活動に協働し、介護施設の車両を活用した買物支援に繋ぐことが出来た。

12月のコーディネーター会議には、庄原市の生活支援コーディネーターの上田正之氏にアドバイザーとして参加していただき、貴重なアドバイスを多数得ることが出来た。

また、尾道市より、第2層協議体のエリアについて、尾道市が設定していた7つの圏域から、生活エリアである24の地区社協圏域に見直しがなされた。このことは、貴重なアドバイスが大きな影響を与えたと感じているところである。

包括の介護予防・生活支援部会との合同会議を開催し、現時の取組状況や困っていることなどをお互いに報告し合い、改めて情報共有の重要性を認識したところである。

また、三原市社協の呼びかけにより、3市（三原市、尾道市、福山市）の生活支援コーディネーター会議を開催する運びとなった。それぞれの課題を共有しながら、お互いにスキルアップを図っていきたい。

【成果】

- ・ 地域での見守り活動の意識向上が図られた。
- ・ 南部（因島）圏域では、住民主体の第2層協議体を立ち上げることが出来た。
- ・ 小地域ネットワーク推進事業や生活介護支援サポーター養成講座等を重層的に行うことで、地域への働きかけや活動がつながりやすかった。
- ・ 地域の情報の共有を図り、サロン等に参加するなかで、住民のコーディネーターへの認識が高まっている。

【課題】

- ・ 旧尾道地域の社会資源、現状及び課題の把握が不十分である。
- ・ 地域役員の担い手不足及び高齢化。

- ・ 参加者は、高齢者や関係団体の役員の方が大半である。若い人たちは、地域活動とは疎遠になりがちである。若い方を取り込む方策が必要である。
- ・ 行政の担当者及びコーディネーターが変わる度に、活動が鈍くなっている。本事業を進めていくにあたり、行政及び包括との連携は不可欠である。今後も各関係機関と連携し、役割分担のうえ進めていくことが求められる。

(14) おのみち福祉まつり・尾道市社会福祉大会等の開催

① 第49回おのみち福祉まつり

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

② 尾道市社会福祉大会等の開催

ア 尾道市社会福祉大会（場所：尾道市総合福祉センター）

新型コロナウイルス感染拡大防止のため大会は中止となり、表彰のみ行った。

永年にわたり福祉活動に功労のあった方や在宅で介護されている方を表彰した。

日 時	11月17日（火） 13：30～14：00
内 容	<p>1 福祉功労者及び介護者表彰及び感謝状の贈呈</p> <p>① 尾道市長感謝状 5名</p> <p>② 尾道市社会福祉協議会会長表彰 87名 1団体</p> <p>社会福祉協議会関係者 19名</p> <p>民生委員児童委員 2名</p> <p>社会福祉施設・団体関係者 31名</p> <p>ボランティア（個人） 31名</p> <p>ボランティア（団体） 1団体</p> <p>介護者 4名</p> <p>③ 尾道市社会福祉協議会会長感謝状</p> <p>高額寄付者 20名 匿名1名</p> <p style="text-align: right;">（参加者 44名）</p>

イ 広島県社会福祉大会（場所：広島ガーデンパレス）

日 時	10月29日（木） 13：30～15：00
内 容	<p>福祉活動功労者表彰状の贈呈</p> <p>広島県社会福祉協議会会長表彰 29名 1団体</p>

ウ 全国社会福祉大会

内 容	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため大会は中止となり、表彰のみ行われた。</p> <p>全国社会福祉協議会会長表彰 4名</p>
-----	---

③ 第 35 回御調地区健康福祉展への参加

日 時	10 月 24 日（土）、25 日（日）（中止）
場 所	公立みつぎ総合病院、御調保健福祉センター
内 容	開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止となった。代替行事として、10 月 23 日（金）から 10 月 30 日（金）まで、ふれあいサロンやボランティアグループのパネル展示を行った。

④ 障害者ふれあいスポーツ大会への参加

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。

⑤ むかいしま健康福祉まつりへの参加

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。

(15) 広報啓発活動

① 市社協だより

偶数月に、市社協だより第 269 号～第 274 号を発行し、全世帯に配布して、福祉情報のお知らせ、ボランティア活動等の啓発を行った。

② ホームページなど

各課から選任した職員でワーキングチームを立ち上げ、ホームページリニューアルを進め、令和 3 年 4 月から運用している。各課で、更新作業ができるよう研修会を行った。今後は、社協からの情報がタイムリーに発信できるように各課で更新作業を行うこととした。

活動内容の周知や行事への参加呼びかけ等きめ細かく更新することで、幅広い層の参加に努め、情報の発信を行っていく。

(16) 民生委員児童委員協議会との連携

毎月の民児協会長会議に出席し、市社協の事業説明やコロナ禍での活動状況等情報の提供を行い、連携を図った。

市社協主催の小地域ネットワーク推進事業の研修会には、たくさんの民生委員の参加につながった。令和 3 年度に向けて、さらに連携を深めていけるよう尾道市内 18 区民児協の定例会への出席を依頼した。

(17) 福祉まるごと相談窓口事業

どこに相談すればいいかわからない、8050 問題や引きこもりなど多くの課題を抱えて悩んでいらっしゃる方に相談員が寄り添い、関係機関へつなぐなど、解決に向けて取り組んだ。

単一機関だけでは解決が困難な複合化した課題の解決を図るために地域共生包括化推進会議を設置し、代表者会議、実務者会議を開催した。

福祉まるごと相談窓口実績

相 談 内 容	件 数	備 考
ひきこもり・8050 問題	22	
介護困窮・ダブルケア	25	
病気治療困窮	45	
障害困窮	28	
その他	43	
合 計	163	

3. 福祉人材養成事業

(1) 地域人材確保推進体制整備事業

行政、ハローワーク、福祉施設、高等学校等と連携して尾道市福祉・介護人材確保等総合支援協議会会議を開催し、実施事業の事前協議及び報告を行うとともに、委員同士の情報交換と交流を図った。本年度は、コロナ禍でもできることを考え、「福祉・介護を学ぶ授業」での新規開拓やリモート開催を行うとともに、前年度から取り組んでいる「Teachers' Tour」については、開催形態をオンラインに変更して開催した。

ア 尾道市福祉・介護人材確保等総合支援協議会会議

年3回の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、10月の会議を中止した。

開催日	場 所	内 容	参加者
7月8日(水)	総合福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度事業報告及び収支決算報告 ・令和2年度事業計画(変更案)及び収支予算(変更案)について ・役員改選について ・情報交換 	13名
2月25日(木)	総合福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長、副委員長の選任 ・令和2年度実施事業の報告 ・令和3年度事業計画(案)及び収支予算(案)について協議 ・情報交換 	11名

イ 高校生の福祉のお仕事見学・体験バスツアー

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

ウ 福祉・介護を学ぶ授業への講師派遣

広島県社会福祉協議会と連携を取りながら、福祉・介護人材イメージアップのために、福祉・介護を取り巻く現状や介護職の魅力を伝え、高齢者とともに生きることの必要性を伝えた。前年度実績は2校(尾道高校、尾道商業高校)であったが、今年度は今まで実績の無い高校にも積極的に働きかけ、実績のある2校に加え、新しく2校(瀬戸田高校、御調高校)で実施することができた。

開催日	場 所	内 容	参加者
8月27日(木)	瀬戸田高等学校	演題：福祉・介護を知り、地域のことや将来の職業、生き方について考える 講師：尾道福祉専門学校 専任教諭 重岡秀和さん	1年生 33名 2年生 25名

12月9日(水)	尾道高等学校	演題：社会福祉のとらえ方と介護の現状 ～介護福祉士のありかたとは～ 講師：トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校 介護福祉学科 学科長 吉岡俊昭さん	工業科 2年生 44名
12月15日(火)	御調高等学校	演題：福祉出前講座 講師：尾道福祉専門学校 専任教諭 重岡秀和さん	福祉コース 2年生 3名
2月17日(水)	尾道商業高等学校 (※Zoomでのリモート授業)	演題：絶対介護時代～この時代を生きるすべての人たちへ～ 講師：トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校 介護福祉学科 学科長 吉岡俊昭さん	1年生 192名

エ 「Teachers' Tour 2020 Online」の開催

広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会と共同で開催し、尾道市内高等学校の8校を中心に参加を呼び掛けた。事業を通して、高校卒業後の進路として福祉・介護業界の魅力を知ってもらうことを目的に、福祉・介護業界の現状（給与・処遇）や仕事内容、職場の選び方、進学先や修学資金等の各種支援制度など、福祉・介護業界の情報を発信した。

開催日	開催方法	内 容	参加者
7月21日(火)	WEB会議システム「Zoom」	◇オリエンテーション ◇進路としての福祉・介護業界 ①福祉・介護業界の働き方（給与や処遇、仕事内容など） ②進学先・修学資金に関する情報 ③県内の福祉・介護に関する取組 ◇質疑応答 ◇まとめ	50校 54人 (49 高校1大学)

(2) 大学、専門学校等社会福祉援助技術実習生等の受け入れ

福山平成大学から、1名の実習生を受け入れた。

期間：令和2年8月17日(月)～9月14日(月)

(3) 日本赤十字社講習会

- ア 旧尾道地域…10月9日(金)に栗北地区で幼児安全法講習会を行い、子育てサロンの親子が受講した。もしもの事故や怪我に備え、AEDの使用方法や応急処置について学ぶことができた。
- イ 御調地域……10月29日(木)に、幼児安全法講習会「こどもに起こりやすい事故の防止と手当(AED)」を保育ボランティア養成講座時の中で行い、12名が受講した。
- ウ 向島地域……1月27日(水)に、向島町はなみずき赤十字奉仕団とボランティア団体の共催により防災研修会を開催した。防災士による緊急時における心構えや防災力を高める研修を行い、28名が参加した。
- エ 瀬戸田地域…新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

4. 福祉教育推進事業

(1) 児童・青少年を対象とした福祉教育

① ボランティア活動実践校事業

ア 指定校

各指定校は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、障害者との交流や高齢者擬似体験等実施出来なかったが、ビデオや手紙等を使って、地域住民と交流を図るなど工夫を凝らした活動を行った。

(指定校)

小学校(18校)	長江小、土堂小、栗原小、吉和小、山波小、日比崎小、三成小、美木原小、西藤小、浦崎小、栗原北小、御調中央小、御調西小、高見小、向島中央小、三幸小、因島南小、瀬戸田小
中学校(7校)	日比崎中、高西中、浦崎中、向東中、御調中、向島中、瀬戸田中

イ ボランティア実践校会議の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各指定校の計画書を冊子にまとめ、配付した。また、新たな取り組みとして、各指定校にアンケートを実施し、取り組み成果の把握を行った。

② 出前福祉教室の開催

ア 旧尾道地域

(ア) 高西中学校

福祉やボランティアへの関心を高めるとともに、人と人のつながりや助け合いの大切さを理解してもらうことを目的に、1学年(140名)に向けてボランティアの活動紹介と体験授業を行った。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加するボランティアの人数を縮小し、マスク及びフェイスシールドの着用等の対策を講じて実施した。

9月30日(水)：ボランティアについての講話及び活動紹介

(点字、手話、要約筆記、託児、読み語り、傾聴、アイマスク体験、
高齢者疑似体験、車いす介助)

10月5日(月)：ボランティアの体験授業

(点字、手話、要約筆記、アイマスク体験、高齢者疑似体験、
車いす介助)

イ 向島地域

(ア) 向島中学校(中止)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。

(イ) 三幸小学校(9月18日(金))

児童(4年生14名)を対象に、朗読録音体験、点字体験、手話体験、点字ブロック
歩行体験、車椅子体験の5つのコーナーをスタンプラリーによる体験をし、ボランテ
ィア意識の向上と啓発を図った。

(ウ) 向島中央小学校ボランティア体験学習(9月25日(金))

児童(3年生63名)・保護者を対象に、朗読体験・点字体験・手話体験・点字ブロッ
ク・体験・車椅子体験の5つのコーナーを親子で体験し、人々のやさしさや温かさを
感じ取り、誰でもやさしく接しようとする意欲をもつとともに、社会の一員としてともに
生きる社会を実行していこうとする態度を育てる目的でボランティア体験事業を行
った。

ウ 御調地域

(ア) 御調中央小学校(10月26日(月))

障害者・高齢者への支援を行うボランティアを多く体験し、介護、福祉への関心を高
めることを目的に、ボランティアを講師として、6年生(46名)を対象に、手話、要
約筆記、アイマスク(白杖)、車椅子操作などの体験を7グループに分かれ、感染対
策を徹底し、スタンプラリー形式で各体験を行った。

③ 夏休みヤングボランティアスクール

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

④ 「地域まるごと福祉教育推進事業」指定終了後の取り組み

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

⑤ Let's 食育！御調グループの参加

御調地区の関係団体(尾道市子育て支援課、御調保健福祉センター、子育て支援センター
みっけ、御調子ども図書館「すくすく」、第11区主任児童委員、子育てオープンスペース
0123、尾道市社会福祉協議会)の協働開催で1～3歳児までの親子を対象に「食」について
の大切さを伝えた。

日 時	場 所	内 容	参加者
12月3日(木) 10:00～11:15	みつぎいこい 会館	Let's 野菜と仲良し！！～身近な野菜 に親しもう～	8組

5. ボランティア活動推進事業

ボランティア活動を推進するため、本所、支所ともに地域の実情に応じた相談対応を行い、研修会の開催や情報発信等を通じてボランティアの育成や新規会員確保に取り組んだ。

(1) ボランティアセンターの運営（相談・派遣・ネットワーク・広報等）

① ボランティアの相談・情報提供

ボランティアの新規活動希望や派遣依頼等の対応を行うとともに、ボランティア団体に向けた各種ボランティア情報の発信や助成金、研修会等の情報提供を行った。

② ボランティア依頼への対応

登録ボランティア数 1,418 名で、団体、個人の依頼により派遣した。依頼件数は託児 14 件、手話 8 件、要約筆記 2 件、その他 1 件となっている。また、点訳と朗読録音依頼については次のとおりである。

区 分	内 容	利用者
点訳依頼	市役所の各課や身障協会からの通知など公的な依頼が 26 件、個人的な依頼が 27 件あった。公的書類の通知文書、バスや電車の時刻表、川柳作品など、視覚障害者の生活に必要なものや生活の充実につながるものを点訳した。	12 名
朗読録音 依頼	広報おのみち、市社協だより、市議会だよりをはじめ、新聞の社説、身障通信などを朗読した CD を視覚障害者の希望で送付した。	33 名

③ 各地域ボランティア連絡協議会の活動

ア 尾道ボランティア連絡協議会（参加サークル 14 団体、個人ボランティア 1 名）

定例会を毎月 1 回開催（コロナ禍で 4 月、5 月は中止）し、意見や情報の交換、ボランティア同士の交流を図りながら、次の活動を行った。

- ・ 共同募金運動への協力
- ・ 定例会で毎回 2 団体ずつ活動紹介
- ・ 定例会参加メンバーを対象としたボランティア体験の実施
- ・ 尾道市立高西中学校でのボランティア活動紹介と体験授業
- ・ 尾道市ボランティアネットワーク会議に参加
- ・ 荒神堂サロンの運営（※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため 5 月末まで中止。）

月曜日：個人ボランティア 火曜日（隔週）：「おりづるの会」

水曜日：「どんぐりの会」 木曜日：「傾聴ボランティアコスモス」

金曜日：「尾道認知症の人と家族の会」

- ・ 荒神堂サロンの閉所（令和3年12月25日（金））

イ 御調地区ボランティア連絡協議会（参加サークル 5団体）への協力

町内で活動するボランティア団体が相互交流や研修、実践発表を行い、福祉の増進を図っている。具体的には、次のような活動を行った。

- ・ ボランティア連絡協議会会議実施（年5回）
- ・ 共同募金街頭募金への協力 10月1日、2日
- ・ 御調中央小学校ボランティア体験学習 10月26日
- ・ 御調地区ボランティア連絡協議会研修会 2月5日
- ・ 尾道市ボランティアネットワーク会議への参加
- ・ 活動展示パネルの掲示（みつぎいこい会館）

ウ 向島ボランティアグループ連絡会「花あかり」（参加サークル 8団体）への協力

「花あかり」は8団体が参加。毎月1回役員会を開催し、ボランティアグループ同士の情報交換を行った。このほか、次の活動を行った。

- ・ 「花あかり」役員会……毎月第1金曜日
- ・ 尾道ボランティアネットワーク会議……毎月第4月曜日（3カ月に1回）
- ・ 小学校による総合学習体験と活動紹介
三幸小学校4年生に手話ボランティア「高見」による手話指導：4回
三幸小学校4年生に朗読ボランティアともしびによる録音指導：2回
- ・ 花いっぱい！笑顔いっぱい運動
- ・ 防災研修会開催（1月27日（水））
向島町はなみずき赤十字奉仕団とボランティア団体の共催により防災研修会を開催した。防災士による緊急時における心構えや防災力を高める研修を行い、28名が参加した。
- ・ 街頭募金への協力

エ 因島ボランティア連絡協議会（参加サークル 8団体）への協力

原則2カ月に1回、定例会を開催し、尾道市ボランティアネットワークの報告及び因島ボランティア連絡協議会の活動内容の検討、各サークルの情報交換を行った。今年度は、新型コロナウイルスの影響で思うような活動ができなかった。毎年恒例となっている「大浜しまなみビーチ清掃活動」は中止となり、活動計画の一つに挙げていた広島への視察研修も中止した。「フラワーセンターの花植えボランティア」は、11月のみ開催され、各団体から沢山の参加があり、スムーズに作業が進んだ。

コロナ禍の中でもできるボランティア活動を提案し、ボランティア同士の活動が活性化するような取組みを進めていきたい。

オ 瀬戸田ボランティア連絡協議会（参加サークル 2団体）への協力

尾道市ボランティアネットワーク役員会を受けて、報告及び活動内容の検討、各サークルの情報交換を定期的に行った。

サークル会員の高齢化とコロナ禍で活動の制約が相まって、今年度で脱会（解散）す

るサークルがあり、本協議会を来年度も存続していくために、会員促進の声かけを精力的に行った。その結果、来年度は新たに2団体が加入することになった。

来年度は、参加サークルの活動がより活性化できるよう支援していきたい。

④ 尾道市ボランティアネットワーク事業

尾道市ボランティアネットワークを立ち上げ13年目となり、加入ボランティア団体数は37団体となっている。定例会を年4回開催し、意見交換をしながら活動内容の検討やボランティア同士の交流を深めた。

本年度は、コロナ禍で活動が制限される中ではあったが、初めての試みとしてZoomを活用し、複数会場の同時開催で研修会を行った。また、3密を避けるため参加人数を制限して開催したため、一人でも多くのボランティアに研修内容を発信できるよう、研修会終了後に参加者から各団体内部での共有を促した。その他、市社協だよりを活用してボランティアの活動紹介や募集など情報発信を行った。

ア 尾道市ボランティアネットワーク会議の開催

開催日	場 所	内 容	参加者
6月15日(月)	総合福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・尾道市ボランティアネットワーク総会 ・書面決議の結果報告 ・「2020年度 おのみちボラネット研修会」について ・各V連の情報交換 	13名
9月14日(月)	総合福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・「2020年度 おのみちボラネット研修会」について ・ボランティア応援ブックの増刷について ・各V連の情報交換 	11名
12月17日(木)	総合福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・「2020年度 おのみちボラネット研修会」の振り返り ・「令和3年度地域づくり講演会&ボランティアネットワーク総会」について ・「おのみちボランティア交流会“2021”」について ・令和3年度ボランティア応援ブックの作成について ・令和3年度市社協だよりの担当V連について ・各V連の情報交換 	12名

3月8日(月)	総合福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・「2020年度 おのみちボラネット研修会」の振り返りシート集計結果報告 ・令和3年度新役員について ・「令和3年度地域づくり講演会&ボランティアネットワーク総会」について ・「おのみちボランティア交流会“2021”」について ・各V連の情報交換 	12名
---------	----------	---	-----

イ 尾道市ボランティアネットワークの活動

開催日	場 所	内 容	参加者
4月30日(木)	書面決議	<ul style="list-style-type: none"> ◆2020年度ボランティアネットワーク総会 ①2019年度事業報告及び2020年度事業計画(案) ②2020年度役員(案) 	会員 38団体
11月28日(土)	①尾道会場 総合福祉センター 4階大会議室 ②因島会場 因島総合福祉保健センター 1階 大講堂 ※上記①、②をZoomで接続	<ul style="list-style-type: none"> ◆2020年度 おのみちボラネット研修会 演題:「コロナ禍と居場所 こども食堂の取り組みから考える」 講師: 東京大学先端科学技術研究センター 特任教授 兼 全国こども食堂支援センター・むすびえ 理事長 湯浅誠さん 	83名

ウ 市社協だよりによる情報発信

尾道市ボランティアネットワークや各地域ボランティア連絡協議会の取り組み、ボランティアの活動紹介や募集など、尾道市民に向けて情報発信した。

【成果】

- ・ 定例会で各ボランティア連絡協議会の活動及び課題を共有することで、それぞれが各地域の状況を理解し、今後の活動を考える機会となった。
- ・ コロナ禍の工夫点としてZoomを活用することで研修会の会場を複数確保でき、因島に

会場を確保したことは、因島・瀬戸田地域からの参加者増につながった。

- ・ 研修会を通して、こども食堂についての理解を深め、コロナ禍においてもつながり続けることの大切さ、ボランティア活動の必要性について伝えることができた。また、コロナ禍でも自分たちの活動で工夫できないか考える良い機会となった。

【課題】

- ・ ボランティアの高齢化や担い手不足で活動縮小や解散するボランティア団体もあるため、新規ボランティア会員の発掘及び後継者の育成、既存活動の見直しなど新たな取り組みが必要である。
- ・ ボランティアの存在や活動を幅広く市民に周知できるよう、尾道市や各種団体との連携を図りながら、情報発信の手法を検討していく。

⑤ ボランティア活動保険・行事用保険などの受付

安心してボランティア活動をしてもらうために、研修会や民児協定例会などでボランティア保険の周知を行い、加入の促進と事故への対応を行った。

区 分	本所	御調	向島	因島	瀬戸田
ボランティア活動保険加入者数	2,674名 事故2件	280名	847名	605名 事故2件	568名 事故1件
ボランティア行事用保険加入件数	104件	7件	10件	1件	0件
送迎サービス補償保険加入件数	1件	1件	1件	—	—
福祉サービス総合補償保険加入件数	6件 事故1件	—	—	—	—
社協の保険（ふれあいサロン・社協行事障害補償保険）加入件数	214件 事故1件	—	—	—	—

⑥ 福祉活動機材等の貸し出し

車椅子や疑似体験グッズ、パネル、テント、レクリエーション機材などを貸し出し、地域福祉や学校での福祉教育に活用された。

(2) ボランティア養成事業

ボランティア養成のために各種講座を実施した。

① 保育ボランティア養成講座

ア 旧尾道地域

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

イ 御調地域

9月24日（木）、10月29日（木）、11月19日（木）の全3回、助産師、日本赤十字社幼児安全法指導員による講座と保育体験を行い、13名が受講した。「子育てほっとサポート」へ3名が新規登録を行い、保護者向けの講座での託児など、地域で子育て支援活動を行った。

② 読み語りボランティア研修会

ア 旧尾道地域

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

イ 御調地域

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

③ お掃除ボランティア「さわやか」活動

お掃除ボランティア「さわやか」を立ち上げてから10年目となった。隔月で定例会を5回開催し、活動の振り返りを行うとともに、事業推進に向け意見交換を行った。

お掃除ボランティア会員だけでなく、民生委員、地区社協会長、区長、地域包括支援センター等にも協力支援体制を図った。尾道市清掃事務所より、市内全域にパッカー車の派遣をしていただくことができ、スムーズにゴミの処理ができた。清掃活動にあたっては、地域住民に協力を募るため、案内チラシを作成し、配布した。

また、毎年恒例の環境ウォーキングを行い、お掃除ボランティア会員同士の交流を図った。

ア お掃除ボランティア「さわやか」定例会の開催

開催日	場 所	内 容
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面審議を実施		・お掃除ボランティア「さわやか」総会書面決議令和元年度事業報告及び決算報告について 令和2年度事業計画及び予算について
6月17日(水)	愛あいセンター	・お掃除ボランティア「さわやか」総会書面決議結果報告 ・お掃除ボランティア活動について(振り返り) 6月:向島1件
7月15日(水)	総合福祉センター	・お掃除ボランティア活動について(振り返り) 7月:旧尾道1件
9月16日(水)	総合福祉センター	・お掃除ボランティア活動について(振り返り) 7月~9月:旧尾道1件、向島1件 ・環境ウォーキング&交流会について
1月20日(水)	総合福祉センター	・環境ウォーキング&交流会について(振り返り) ・お掃除ボランティア活動について(振り返り) 9月~令和3年1月:旧尾道4件、御調1件 向島1件
3月17日(水)	総合福祉センター	・お掃除ボランティア活動について(振り返り) 令和3年1月~3月:旧尾道2件、御調1件 向島3件

イ お掃除ボランティア「さわやか」因島グループ定例会の開催

開催日	場 所	内 容
7月16日(木)	因島総合福祉 保健センター	・お掃除ボランティア定例会(7/15)の報告 ・しまなみクリーン活動について
9月17日(木)	因島総合福祉 保健センター	・お掃除ボランティア定例会(9/16)の報告 ・環境ウォーキングについて
1月21日(木)	因島総合福祉 保健センター	・お掃除ボランティア定例会(1/20)の報告
3月18日(木)	因島総合福祉 保健センター	・お掃除ボランティア定例会(3/17)の報告

ウ お掃除ボランティア「さわやか」研修&交流

開催日時	場 所	内 容
11月18日(水) 9:40~12:30	県道向島因島 瀬戸田自転車 道	・環境ウォーキング&交流会 尾道市全域の会員が集まり、瀬戸田の県道向島因島瀬戸田自転車道の清掃を行った。終了後、交流会を行い、会員同士の交流を深めた。 参加者:24名

エ お掃除ボランティア「さわやか」活動実績

実施月	旧尾道地区		御調地区		向島地区		因島地区		瀬戸田地区		合 計	
	件数	ボランティア	件数	ボランティア	件数	ボランティア	件数	ボランティア	件数	ボランティア	件数	ボランティア
6月					2	7					2	7
7月	2	10			1	4					3	14
8月	1	5									1	5
10月	1	4									1	4
11月	2	6			1	2					3	8
12月	1	5	1	2							2	7
1月	1	3	1	1							2	4
2月					2	10					2	10
3月	1	2			1	5					2	7
合計	9	35	2	3	7	28	0	0	0	0	18	66

※尾道クリーンセンターのパッカー車利用:18回

【成果】

- ・ 尾道市内全域において18件活動を実施し、お掃除ボランティアの活動が定着してきた。
- ・ 民生委員、地区社協、区長、地域包括支援センター等との連携も密となり、お掃除ボランティアの活動が市内全域に浸透しつつある。
- ・ お掃除ボランティアによる居室の清掃後、在宅生活を継続して生活されているか経過状況を把握した。
- ・ 尾道市清掃事務所によるパッカー車の派遣により、ゴミ処理がスムーズに行えた。

【課題】

- ・ 一人暮らしの高齢者が、ますます増えていく中で、複合的な課題を抱えているケースもあり、関係機関と連携を図り、対応をしていかなければならない。
- ・ 会員の高齢化や担い手不足という課題があり、今後は新規会員の発掘や育成について新たな取り組みを検討していく。

6. 高齢者福祉事業

(1) 第46期尾道いきいき大学

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一年間休校とした。

その他の主な行事

- ・実技講座講師会（第1回）：4月10日（金）
- ・運営委員会（第1回）：7月13日（月）
- ・運営委員会（第2回）：12月21日（月）

(2) 敬老会

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、尾道市と協働で地区社協・町内会等が主体となり、安全面を最優先に考え、地域の実情に応じた可能な取り組みを行うこととした。

開催概要

地域名	地区社協単位で開催した地区社協	地区社協単位で記念品配付した地区社協	町内会単位等で記念品配付した町内会（箇所数）
旧尾道		筒湯、山波、新高山、久保、長江、土堂、日比崎、吉和、三成、木頃、木ノ庄西、木ノ庄東、原田、西藤、高須、百島、向東	栗原（17）、栗原北（12）、向東（6）
御調		菅野、上川辺、市、河内、今津野、綾目、大和	
向島		兼吉、江奥、東富浜1・2区、東富浜3区、小歌島、中富浜、西富浜、田尻、川尻、土井、宇立、有道、津部田、岩子島、立花	
因島	大浜	土生、田熊、重井、東生口	三庄（2）、中庄（4）
瀬戸田		御寺、宮原、荻、田高根、垂水、福田、港、瀬戸田、高根、沢、鹿田原、中野、林、名荷	

- ・箇所数において、2カ所以上の地区社協又は町内会が合同で実施した場合は、1カ所としている。この為、地区社協数及び町内会数と箇所数は必ずしも同数とはならない。
- ・招待者年齢・・・75歳以上
- ・委託料・・・運営費として、一人あたり1,500円（地区社協が尾道市と直接契約する）
- ・招待者数・・・25,932人（男性10,257人、女性15,675人）
- ・出席者数・・・58人（出席率：因島大浜地区以外記念品配付のため、算出不可）

令和2年度 敬老会実施状況（招待者人数）

(人)

	地区名	開催日	開催時間	受付時間	会場：数値は会場数	男性	女性	合計	出席者
旧尾道	山波					286	437	723	-
	新高山					129	170	299	-
	久保					296	457	753	-
	筒湯					167	293	460	-
	長江					252	458	710	-
	土堂					178	308	486	-
	日比崎					414	698	1,112	-
	吉和					479	838	1,317	-
	栗原					917	1,382	2,299	-
	栗原北					440	622	1,062	-
	三成					211	330	541	-
	木頃					144	177	321	-
	木ノ庄西					76	113	189	-
	木ノ庄東					75	108	183	-
	原田					97	166	263	-
	西藤					97	143	240	-
	高須					422	650	1,072	-
	浦崎					297	449	746	-
	百島					66	138	204	-
	向東					718	1,045	1,763	-
小計						5,761	8,982	14,743	-
御調	菅野					32	61	93	-
	上川辺					72	109	181	-
	市					164	248	412	-
	河内					107	195	302	-
	今津野					58	79	137	-
	綾目					49	84	133	-
	大和					30	46	76	-
小計						512	822	1,334	-
向島	兼吉					124	213	337	-
	江奥					184	276	460	-
	東富浜1・2区					38	54	92	-
	東富浜3区					27	48	75	-
	小歌島					23	33	56	-
	中富浜					100	138	238	-
	西富浜					63	73	136	-
	田尻					58	92	150	-
	川尻					80	127	207	-
	土井					12	25	37	-
	宇立					79	112	191	-
	有道					143	197	340	-
	津部田					108	172	280	-
	岩子島					68	102	170	-
	立花					64	97	161	-
小計						1,171	1,759	2,930	-
因島	土生					433	736	1,169	-
	田熊					337	490	827	-
	三庄					381	532	913	-
	中庄					419	587	1,006	-
	大浜	9月13日(日)	13:00~15:00	12:00	大浜公民館	76	124	200	58
	重井					270	387	657	-
東生口					112	161	273	-	
小計					1	2,028	3,017	5,045	58
瀬戸田	御寺					39	56	95	-
	宮原					42	63	105	-
	荻					39	46	85	-
	田高根					26	42	68	-
	垂水					53	71	124	-
	福田					96	127	223	-
	港					16	26	42	-
	瀬戸田					63	112	175	-
	高根					54	89	143	-
	沢					47	49	96	-
	鹿田原					13	19	32	-
	中野					68	89	157	-
	林					100	125	225	-
	名荷					129	181	310	-
小計						785	1,095	1,880	-
合計						10,257	15,675	25,932	58

(人)

	町内会等	開催日	開催時間	受付時間	会場	数値は会場数	男性	女性	合計	出席者					
栗原久山田	下組北	記念品のみ配付					26	49	75	-					
	本通り第2						50	84	134	-					
	本通り第3						46	68	114	-					
	本通り第4						5	4	9	-					
	本通り第5						3	9	12	-					
	則末第4						167	253	420	-					
	則末町内						2	3	5	-					
	向ヶ峠						93	152	245	-					
	向山						54	79	133	-					
	竹屋						78	122	200	-					
	川上						137	185	322	-					
	大地						26	29	55	-					
	緑ヶ丘						3	13	16	-					
	門田						126	221	347	-					
	竜王台						20	24	44	-					
	大迫						7	8	15	-					
	久山田						74	79	153	-					
	小計											917	1,382	2,299	-
	栗原北						三美園団地	記念品のみ配付					125	177	302
大迫団地		62	83	145	-										
三成ヶ丘		40	55	95	-										
松岡団地		32	51	83	-										
堂面		12	26	38	-										
三美園住宅		17	27	44	-										
竹屋東		19	24	43	-										
松岡		42	68	110	-										
竹屋団地		58	81	139	-										
内郷		1	1	2	-										
幸が丘		24	24	48	-										
幸ヶ丘		8	5	13	-										
小計							440						622	1,062	-
向東	彦ノ上二	記念品のみ配付					38	62	100	-					
	堤						25	43	68	-					
	寺内						68	113	181	-					
	谷水						14	24	38	-					
	古江奥						22	21	43	-					
	向東						551	782	1,333	-					
小計						718	1,045	1,763	-						
因島	三庄	記念品のみ配付					369	516	885	-					
	椋浦						12	16	28	-					
	小計						381	532	913	-					
	中庄	中庄	記念品のみ配付					302	385	687	-				
		鏡浦						15	29	44	-				
		外浦						38	61	99	-				
		西浦						64	112	176	-				
小計						419	587	1,006	-						

7. 障害者福祉事業

障害者が地域で安心して暮らせるよう、ボランティア活動の促進、福祉人材の育成等を行った。
また、当事者団体への支援等を行い、あらゆる機会を通じて障害者の自立と社会参加の促進を図った。

(1) 障害者社会参加促進事業

例年、障害者の自立と社会参加を推進するため、各種講座やボランティアの養成を行っているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各種養成講座や学習会は一部を除いて中止した。

① 各種養成講座

ア 手話通訳奉仕員養成講座

地域名	実施予定期間	開催曜日・回数	受講者	修了者
市 域	5月21日～3月4日	中止	—	—

イ 手話講習会 (※講師は、いずれも手話サークル会員とろうあ協会会員)

地域名	実施予定期間	開催曜日・回数	受講者	修了者
旧尾道	5月22日～9月25日	中止	—	—
御 調	5月 9日～7月18日	中止	—	—
向 島	5月20日～9月16日	中止	—	—
因 島	5月25日～8月17日	中止	—	—

ウ 尾道市登録手話通訳者学習会〈専門研修〉

外部講師：広島県ろうあ連盟、尾道ろうあ協会

受講者：延べ101名 10回

対象者：手話通訳派遣に登録している方

エ 点訳奉仕員養成講座 (※講師は、点字サークル会員)

地域名	実施予定期間	開催曜日・回数	受講者	修了者
旧尾道	5月20日～7月22日	中止	—	—
向 島	6月11日～11月26日	中止	—	—
因 島	5月13日～10月28日	中止	—	—

オ 朗読講習会 (※講師は、朗読ボランティア会員)

地域名	実施予定期間	開催曜日・回数	受講者	修了者
御 調	6月 4日～7月30日	中止	—	—
向 島	9月11日～1月22日	第2・4金曜日 10回	4名	4名

※旧尾道及び因島地域については、実施予定の広報前に中止した。

カ 朗読講習会〈専門研修〉

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

キ 要約筆記者養成講座

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

② 手話奉仕員、要約筆記者派遣事業

ア 手話奉仕員派遣

地域名	派遣件数	派遣時間	派遣内容	派遣者数	依頼者数
旧尾道	42 件	72 時間	病院・学校行事等	6 名	8 名
御 調	21 件	41 時間	病院	4 名	1 名
向 島	10 件	12 時間	病院	1 名	1 名
因 島	12 件	29 時間	病院・手続き等	2 名	2 名

イ 要約筆記者派遣

地域名	派遣件数	派遣時間	派遣内容	派遣者数	依頼者数
旧尾道	2 件	5 時間	町内行事	3 名	1 名

③ 障害者スポーツ教室開催事業

地域名	教室等の行事名	参加者
旧尾道	水中ウォーキング	中止
	スポーツ吹き矢	中止
	ボッチャ	8 名
因 島	水泳教室・着衣泳実技	中止
	ふれあい運動会（ペアレース等 9 種目）	中止
	グラウンドゴルフ大会	中止
	卓球教室	中止
御 調	障害者ふれあい交流会・研修会	22 名
	障害者ふれあいスポーツ大会	中止
瀬戸田	身障スポーツ大会	中止

④ 啓発普及事業

第 27 回「障害者週間」尾道福祉大会は、新型コロナウイルス感染症の終息が見通せないため中止となった。福祉大会の代替行事として、障害者週間の期間中（12 月 3 日～9 日）に、市内の障害者施設利用者が作成された絵画等の作品展を総合福祉センターで行った。

⑤ 生活訓練事業

ア 介助ボランティア養成講座（障害者福祉）

(ア) 講 義

開催日時	内 容
1 月 24 日（日） 13:30～15:00	テーマ：「傾聴」～心の声に耳をすます～ 講 師：臨床心理士 浮田明子さん
1 月 31 日（日） 13:30～15:00	テーマ：「知的障害の理解」 講 師：社会福祉法人あづみの森 障害者生活支援センター あおぎり副所長 東 君枝さん

2月7日(日) 13:30~15:00	テーマ：①介助を実際に体験しよう(車いすの扱い方・白杖体験) ②どんぐりの会について 講師：介助ボランティア「どんぐりの会」
------------------------	--

- イ チャレンジタイム(7回) 参加者 35名
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、7月まで料理教室は中止にし、代替の教室を9月から開催した。知的障害者を対象に介助ボランティアと一緒にレクリエーションや創作活動の教室を通して達成感、充実感を味わい、休日の居場所づくり・仲間づくりの場となった。
- ウ は一とらんど(9回) 参加者 43名
知的障害者の休日の居場所づくりや仲間づくりのために開催した。障害者同士の交流がもてるように支援した。
新型コロナウイルスの感染拡大防止のため5月までは中止とし、6月から開催した。
- エ 簡単料理教室(6回) 参加者 128名
向島地域で知的障害者を対象に料理教室を行った。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながら、地元の野菜を使った料理を作るなど工夫し、調理を重ねていくことで日常生活につながる活動となった。
瀬戸田地域でも料理教室を計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。

⑥ 障害者IT総合推進事業

- ア パソコン入門(39回) 参加者 139名
障害者を対象に、日常生活の向上及び社会参加の促進を図る目的で開催。参加者のレベルにあわせた講座で、パソコンの操作技術を習得した。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、5月までは中止とし6月から開催した。
- イ 視覚障害者対象パソコン講習会(4回) 参加者 6名
広島県ITサポートセンターの主催による、視覚障害者のパソコンの利用を促進するために必要な基礎的な操作を習得する講習会を開催した。

⑦ 芸術文化講座開催事業

- ふでふで工房(10回) 参加者 62名
月1回知的障害者を対象に習字教室を9回、絵手紙教室を1回開催。知的障害者の休日の居場所づくり、仲間づくりに役立つ教室となった。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため5月までは中止とし6月から開催した。尾道市役所1階市民交流スペースで13回目となる展示会を行い、日頃の成果を多くの方に見て頂くことで、参加者の意欲向上につながる機会となった。

(2) 障害者当事者団体への支援・協力

- ア 障害者団体等に協力した。
- イ 地域で活動する障害者関係団体のスポーツ大会、研修会等を支援した。

ウ 尾道市身体障害者福祉連合会及び福祉協会の各活動の支援を行った。

8. 児童福祉事業

(1) 子育て支援ネットワークづくり

ブックスタートから始まる子育て支援を推進し、おやこタイムやおやこ広場、子育てサロンの充実や子育て支援ネットワークへの協力を行った。

① ブックスタート事業（4カ月児健診の乳児へ絵本の読み聞かせとプレゼント）

社協、図書館、健康推進課、読み語りボランティアなどが協力して実施し、720人の赤ちゃんへ絵本等のプレゼントを行った。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で乳幼児健診が中止となったため、5月まではブックスタートパックを郵送で届けた。健診再開後も読み聞かせは中止し、絵本のプレゼントのみを行った。10月より感染防止対策を講じ、読み聞かせを再開したが、保育ボランティアによる抱っこは中止した。

地域名	旧尾道・向島	御調	因島	瀬戸田	
実施回数	年間30回	年間4回	年間5回	年間5回	
場所	総合福祉センター	御調保健福祉センター	因島総合福祉保健センター	瀬戸田福祉保健センター	
対象児数	587名	20名	83名	30名	
役割分担	健診	健康推進課	御調保健福祉センター	健康推進課	健康推進課
	受付等	中止	民生児童委員	民生児童委員	中止
	絵本の紹介	中止	中止	中止	中止
	読み語り	「なのはな」	「おはなしラッコ」	「さざなみ会」	「ひよこちゃん」
	赤ちゃんの抱っこ	中止	中止	中止	中止

② ブックスタート・プラス事業

1歳6カ月児健診の幼児811人に絵本をプレゼントした。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、絵本の読み聞かせは中止した。

地域名	旧尾道・向島	御調	因島	瀬戸田	
実施回数	年間36回	年間7回	年間5回	年間5回	
場所	総合福祉センター	御調保健福祉センター	因島総合福祉保健センター	瀬戸田福祉保健センター	
対象児数	660名	40名	85名	26名	
役割分担	健診	健康推進課	御調保健福祉センター	健康推進課	健康推進課
	絵本の紹介	中止	中止	中止	中止
	読み語り	中止	中止	中止	中止

③ ブック・ステップアップ事業

3歳児健診の幼児 879 人に絵本をプレゼントした。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、絵本の読み聞かせは中止した。

地域名	旧尾道・向島	御調	因島	瀬戸田	
実施回数	年間 38 回	年間 7 回	年間 6 回	年間 5 回	
場 所	総合福祉センター	御調保健福祉センター	因島総合福祉保健センター	瀬戸田福祉保健センター	
対象児数	694 名	32 名	111 名	42 名	
役割分担	健 診	健康推進課	御調保健福祉センター	健康推進課	健康推進課
	絵本の紹介	中止	中止	中止	中止
	読み語り	中止	中止	中止	中止

④ ブックスタート関連取組み

ア 会議

11月13日（金）ブック・ステップアップ絵本選定会議の開催。

イ 研修会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

ウ 講演会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

【成果】

- ・ 事業のアンケートにおいて、ブックスタート事業を受けた方は、家庭で絵本を読む機会が増え、親子で向き合う時間が増えていると感じる割合が高い。また、図書館を利用されるきっかけになっている。
- ・ 読み聞かせを中止していることを残念に思う保護者が多く、この事業が定着していることが伺えた。

【課題】

- ・ ブックスタートは10月から読み聞かせを再開したが、保育ボランティア等による抱っこや一部民生委員児童委員の参加を中止している。また、ブックスタート・プラス、ブック・ステップアップは読み聞かせを中止している。
- ・ 乳幼児健診の時間を短縮して行っている中、読み聞かせの再開や一部ボランティアの参加が見通せない状態である。

⑤ 子育て支援サロンの推進事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月までサロン開催を中止した。6月より遵守項目に沿って再開可能なサロンから順次再開し、16カ所中13カ所が活動を行った。再開したサロンへ子育てサロン連絡協議会と訪問し、感染防止対策や活動方法、サロン運営について相談支援を行った。

子育てサロン通信を2回発行し、各サロンの様子や取り組みについて情報提供を行った。

尾道市子育て支援ネットワークで作成した、コロナ禍での活動についてのアンケートを各子育てサロンに回答していただき、その結果を報告した。

【子育てサロン一覧】

サロン名	場 所	主 催	回 数
高須子育てサロン「ひよこクラブ」	東部公民館（高須）	子育て支援ボランティアたかす	中 止
「らっこクラブ」	東部公民館（高須）	子育て支援ボランティアたかす	月1回
山波子育てサロン「クローバー」	山波公民館	山波地区社協	月1回
土堂子育てサロン「たいよう」	土堂公民館	土堂地区社協	月1回
日比崎子育てサロン「ひびきっず」	日比崎公民館	日比崎地区社協	月4回
吉和子育てサークル「ドレミサークル」	吉和公民館	民生委員会	月1回
栗原子育てサークル「お日さまクラブ」	中央公民館久山田分館	栗原地区社協	中 止
栗原子育てサロン「ちえりいクラブ」	いきいきサロン栗原	栗原地区社協	中 止
栗原北子育てサロン「日だまりカフェ」	栗原北公民館	栗北地区社協、	月1回
三成子育てサロン「にこにこ」	才原なごみ館	三成地区社協	月1回
西藤子育てサークル「ぞうさんクラブ」	福田ふれあい館	西藤地区社協	月1回
浦崎子育てサークル「ほっとにこにこ」	浦崎公民館・認定こども園	浦崎地区社協	月2回
向東子育てサロン「ぴよぴよ」	向東公民館	ぴよぴよ実行委員会	月2回
向島子育てサロン「すくすく」	愛あいセンター	むかいしま子育てサロン実行委員会	月1回
因北子育てサロン「うきうき」	中庄公民館	子育てボランティアうきうき、中庄町社協	月2回
瀬戸田子育てサロン「バンビ」	瀬戸田福祉保健センター	瀬戸田地区社協	月4回

⑥ おやこタイム、おやこ広場等子育て支援事業（母子・父子福祉センター事業参照）

乳幼児の親子の子育て支援を行った。

⑦ 関係機関との連携

ア 医師会少子化対策等検討委員会への参加

イ 「尾道市子育て支援ネットワーク」の会議へ月1回の参加、活動への協力

ウ Let's 御調グループのイベント（1回）、協働会議（年3回）への参加

【成果】

- ・ コロナ禍での活動についてのアンケートを各子育てサロンに回答していただき、その結果を報告したことで、他サロンの取り組みや工夫点等を知ることができ、今後の活動の参考になったとの意見が多く上げられた。

【課題】

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で活動が困難となり、再開が見通せず、今年度をもって高須子育てサロン「ひよこクラブ」が活動終了となった。他サロンも参加者が大幅に減少しており、活動継続が困難となってきている。

(2) 子どもの居場所づくり

① こどもサポート事業

すべての子どもたちが、未来への希望を持ち、これからの社会を生き抜く力を育むことのできる機会と環境を提供することは、大人世代の責任である。しかし、近年、家族の形や働き方が変わり、地域のつながりが希薄になる中で、安心して過ごせる居場所がなく、孤立してしまう子どもが少なくない。

本事業は、そのような社会の変化を受け、公益財団法人日本財団（東京都）の助成で、平成29年7月からスタートした。市内に「子どもの居場所」を設け、平日の14時から21時までを開設時間とし、小学校低学年を中心とした児童に、保育士や大学生などが、学習支援、夕食提供、遊びや困り事の相談相手になっている。平成31年2月には、市内2カ所目の「子どもの居場所」を開設した。

本事業では、市や学校と協働して、支援のネットワークづくりにも取り組んでいる。利用定員は、各施設20名で、令和3年3月末時点で両施設合わせて25名が登録している。他の福祉機関と連携して生活のサポートも行い、子育て環境が改善し、積極性が身に付いた児童もいる。誕生日会や、クリスマス会などの行事体験、キャンプ、夏休みの遠足や社会見学を実施し、子どもの経験を深める活動も実施している。

なお、令和3年度から2カ所のうち1カ所が尾道市からの受託事業となる。今まで以上に地域に根差した「居場所」にするため、関係各所との連携をさらに強め、子どもたちによりよいサポートを行っていきたい。

② 子どもの居場所づくりネットワーク事業

令和2年度から新規事業で、子どもたちが健やかに育つ地域環境づくりのため、子ども食堂や学習支援事業に取り組む団体の連携体制の整備を行った。

ア 意見交換会の開催

新型コロナウイルスの影響で、4月の意見交換会は中止になったが、6月から隔月で年間5回の意見交換会を開催し、情報、課題の共有を図った。

イ 研修会の開催

11月28日（土）に、尾道市ボランティアネットワークと共催で、東京大学先端科学技術研究センター特任教授 湯浅誠さんの「地域づくりとボランティア」をテーマにした研修会（オンライン）を開催し、今後の活動の発展に向け取り組んだ。（参加者：6名）
2月5日（金）に、「コロナ禍でも子育て支援ネットワークが実行性を持つために工夫すること」をテーマに、田中聡子先生（県立広島大学教授、アドバイザー）の司会進行で、講師に認定NPO法人ハーモニーネット未来、代表宇野均恵さんを招き、オンライン

で研修会を開催した。(参加者：9名)

ウ ホームページの開設

新たに尾道市子どもの居場所ネットワークのホームページを立上げ、事業内容の周知、イベントや会議開催の情報提供が可能になった。

エ フードドライブの実施

2月にフードドライブ事業を実施し、寄付により集まった食品を関係団体に配分した。引き続き定例的な実施を行いたい。

オ 相談支援

子ども食堂等子どもの居場所の開設を検討している個人、団体に対する相談対応を行い、事業の拡大や推進に努めた。(新規開設の相談 6件)

9. 母子・父子福祉事業

(1) ひとり親家庭の就労支援講座（母子・父子福祉センター事業参照）

医療事務講座、簿記入門講座、簿記3級検定対策講座、パソコン教室を実施し、ひとり親家庭及び寡婦の方々を対象にした就労支援講座を行った。入門編だけでなく資格対策や中級編など続けて学習したいとの希望も多く、個々のレベルアップにつながる講座も開催した。

10. 尾道市総合福祉センター等の管理

(1) 尾道市総合福祉センターの管理

総合福祉センター利用状況（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

階	室名等		市社協	福祉センター	無料登録団体	市	有料	合計	件数	総合計
1階	作業室	午前	141	448	248	254	8	1,099	394	2,321
		午後	190	139	463	363	0	1,155		
		夜間	11	0	26	30	0	67		
	小会議室	午前	297	46	196	2,169	32	2,740	498	4,911
		午後	617	2	273	884	41	1,817		
		夜間	39	0	239	76	0	354		
	和室	午前	106	504	711	382	0	1,703	264	3,159
		午後	111	2	550	646	0	1,309		
		夜間	59	0	55	33	0	147		
	ボランティア室	午前	0	2	521	0	0	523	231	919
		午後	0	0	396	0	0	396		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
機能回復訓練室	午前	0	1,830	0	0	0	1,830	245	1,839	
	午後	3	0	6	0	0	9			
	夜間	0	0	0	0	0	0			
2階	会議室	午前	489	1,322	828	472	35	3,146	448	8,673
		午後	605	1,645	713	1,790	0	4,753		
		夜間	55	0	406	291	22	774		
	小会議室	午前	134	5	141	381	30	691	395	2,343
		午後	275	251	221	667	12	1,426		
		夜間	6	0	183	24	13	226		
	教養娯楽室	午前	1,549	0	0	0	0	1,549	490	3,107
		午後	1,558	0	0	0	0	1,558		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
	創作室	午前	10	0	529	116	0	655	198	1,174
		午後	64	105	321	29	0	519		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
児童センター	午前	0	8,043	0	0	0	8,043	250	8,043	
	午後	0	0	0	0	0	0			
3階	保育室	午前	1,969	780	0	1,240	0	3,989	257	7,338
		午後	2,219	303	0	827	0	3,349		
		夜間	0	0	0	0	0	0		
	調理実習室	午前	125	0	27	606	0	758	129	1,317
		午後	143	0	0	416	0	559		

3階	集会会議室	午前	141	251	194	2,011	15	2,612	367	5,907
		午後	110	99	202	2,420	25	2,856		
		夜間	0	0	357	27	55	439		
	健康相談室	午前	0	0	0	1,676	0	1,676	365	3,659
		午後	0	0	0	1,973	0	1,973		
		夜間	0	0	0	10	0	10		
	栄養指導室	午前	5	0	0	1,585	8	1,598	227	3,645
		午後	6	0	60	2,028	0	2,040		
		夜間	0	0	0	7	0	7		
	保健指導室	午前	0	0	0	1,567	0	1,567	343	3,555
		午後	0	0	0	1,988	0	1,988		
	4階	集団指導室	午前	428	251	414	2,332	0	3,425	375
午後			522	123	579	2,525	0	3,749		
夜間			13	0	378	225	13	629		
会議室		午前	185	21	382	1,539	4	2,131	301	4,049
		午後	185	6	337	1,171	22	1,721		
		夜間	0	0	101	30	66	197		
大会議室		午前	214	4,324	779	2,763	100	8,180	310	13,622
		午後	821	286	888	3,097	78	5,170		
		夜間	0	0	80	192	0	272		
共有	全館	午前	0	0	0	0	0	0	0	0
		午後	0	0	0	0	0	0		
	1Fロビー	午前	0	0	35	0	0	35	10	122
		午後	0	0	87	0	0	87		
合計			13,405	20,788	11,872	40,862	579	87,506	6,097	87,506

※施設利用については、年度初めの4月から5月の2カ月間制限を受けた。(閉館)

施設利用再開後も、利用にあたっては収容人数の概ね半数を目安として運用したため、利用人数は対前年比で半減した。

※毎日、福祉センター館内の消毒作業を行い、新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めた。

(2) 向島福祉支援センター（愛あいセンター）の管理

愛あいセンター使用状況（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

室名等	利用件数（件）	利用人数（人）
第1会議室	65	229
第2会議室	163	3,007
第3会議室	108	1,083
ロビー	49	353
ひまわり	64	606
コショウラン	14	61
コスモス	26	139
カーネーション		
はなみずき	3	7
アーモンド	68	323
相談室	155	362
合計	715	6,170

(3) 因島総合福祉保健センターの管理

因島総合福祉保健センター使用状況（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

室名	利用件数（件）	利用人数（人）
調理室・和室	83	1,586
プレイルーム	99	922
相談室	74	746
会議室	154	2,928
合計	410	6,182

11. 尾道市総合福祉センター事業

(1) 障害者福祉センター事業

市内在住の障害者手帳（身体、療育、精神）を持つ人を対象に、障害者福祉センター事業として各種の教室、講座を開催した。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5月までの教室はすべて中止とし、6月から感染防止対策を講じて、順次再開した。料理教室は感染防止対策の徹底が困難なため内容を変更し、旬の食材を使った料理や栄養の話聞く「あったかタイム」と創作活動などの体験を通して達成感を得る「チャレンジタイム」として開催した。教室再開時は、久しぶりの再会を喜び、お互いを気遣う様子が多く見られた。

平日の教室は、主として身体・精神の障害者への外出支援と社会参加の促進、リハビリに役立つ講座や場の提供を、土・日曜日の教室は、知的障害者の安心安全な居場所と、仲間づくりに役立つ教室を開催した。安定して教室等に参加する障害者同士の交流が深まり、身体のリハビリだけでなく生活に張りが出て、他行事への参加意欲にも繋がっている様子が伺えた。特に「つどい」「あったかタイム」では誘い合っでの参加が多い傾向である。また、スポーツ教室では「ボッチャ」を開催し、参加者全員から次回開催の要望があった。視覚障害者対象のパソコン講習会は、少人数ではあったが、丁寧な個別指導で喜ばれた。引き続き、障害者に寄り添い、安心・安全に教室を開催し、日頃から気軽に相談などができる関係を築いていきたい。

障害者福祉センター事業の内容

基本事業	事業名	開催回数	参加人数
機能訓練	日常生活動作、歩行訓練	235回	(障害者) 299名
	あったかタイム（月1回）	7回	40名
IT総合推進事業	パソコン入門（月4回）	39回	139名
	視覚障害者対象パソコン講習会	4回	6名
芸術文化講座	ふでふで工房（知的障害者のための習字クラブ）（月1回）	10回	62名
本人支援事業	チャレンジタイム（月1回）	7回	35名
	はーとらんど（月1回）	9回	43名
社会参加活動	うたの花束（月1回）	8回	52名
	つどい（月1回）	8回	43名
スポーツを楽しもう	かろやか水中ウォーク（3回開催）	0回	0名
	スポーツ吹き矢（5回開催）	0回	0名
	ボッチャ	1回	8名
更生相談	福祉生活相談	3回	4名
創作・趣味活動	楽しむハーモニカ	9回	76名
	交流会「まんまるの会」	1回	10名
	介助ボランティア養成講座	3回	83名
夏休み教室	コロナ感染拡大防止のため中止	0回	0名
同好会	友遊パソコン	39回	242名

	栗クラブパソコン	27回	251名
	習字同好会	18回	60名

(2) 老人福祉センター事業

市内在住の60歳以上の方を対象に体力の維持・増進、生きがいづくりや仲間づくり、出かけるきっかけづくりを目的に各種教室や行事を企画・実施した。

年度当初は政府の緊急事態宣言の発令により、企画していた教室をすべて中止した。外出自粛期間中にはフレイル、認知症の進行や活動意欲の低下、孤立を引き起こさないよう、自宅で健康維持と介護予防になる体操を促すお便りや感染から身を守る注意喚起のチラシを作成して利用者に郵送し、自身の体力維持や健康管理に努めてもらうよう啓発した。

緊急事態宣言が解除された6月からは、感染拡大防止対策として人数制限、時間制限、開催日数を増やすなど参加者を分散させる工夫をして教室を実施し、仲間づくりや心身機能の維持向上の場を提供した。

高齢者は感染リスクが高いため、外出を控える呼びかけもあったが、健康維持・増進のため出かける場を求めて多くの利用者が訪れた。仲間と楽しく身体を動かし時間を共有し合うことで元気がもられたとの声が聞かれた。また、開催曜日を決めて教室を行うことで曜日感覚が身につく、高齢者の生活リズムの乱れを予防し活動量が増えた。

男性の出かける場として「男のストレッチ」は、和気あいあいと身体を動かし健康づくりに励んだ。顔見知りが出来ると継続的に参加し、仲間と誘い合って他の教室も参加する様子が見られた。祝日と月曜日以外の自由来館で開催していた「囲碁・将棋クラブ」については、感染拡大防止の観点から、令和2年度は水・金の週2日に日数を減らしたが、共通の娯楽を楽しむ男性の大切な居場所になった。

「うたを楽しもう」の教室では、飛沫を防ぐため参加者同士の間隔や、歌う声を控えめにしてもらうなどの感染拡大防止対策を講じて実施した。ピアノの生伴奏に合わせて童謡、唱歌、懐かしの歌謡曲を歌って気持ちがリフレッシュし、心豊かに過ごすことに繋がった。また、音楽を通して他者とつながるコミュニケーションの機会になっていた。多くの方が健康づくりに励み、友達の輪を広げたいと意欲的に様々な教室に参加する様子が見られた。

毎年行っていた「干支の押し絵をつくろう」は、コロナ禍のため開催を中止し、代替えとして切り絵で干支を作る教室を実施した。新たな参加者に加え、男性の参加者もあり活気づいた。指先を使うことで脳を活性化させるとともに、新たなことへ挑戦し生きがいを見つけ、集中力と達成感を味わった。

夏休みチャレンジ教室は、親子の触れ合いや子どもたちの思い出作りにつなげたいと『ミニミニ夏祭り&盆踊り』を企画し、午前と午後の2部に分け感染拡大防止対策を講じて実施した。高齢者に手伝ってもらい、親子が安心してゲームや盆踊りを体験し、みんなで成し遂げる一体感を体験した。今後も多世代で交流が図れる内容を実施していきたい。当分の間は、コロナ禍にあっても感染拡大防止を心掛けながら、できる範囲内のことを工夫し、安心・安全な教室開催を行っていく。

老人福祉センター事業の内容

基本事業	事業名	開催回数	参加人数
機能回復訓練事業	機能回復訓練	235回	1,557名
	お気楽クラブ	6回	42名
一人暮らし高齢者に対する事業	むつみ会	8回	135名
男性の自立支援事業	囲碁・将棋クラブ	74回	1,907名
	男のストレッチ	16回	334名
音楽療法	うたを楽しもう	18回	799名
啓発事業	いきいき・きらきら交流会 (音楽鑑賞)	1回	46名
	健康年齢を上げる呼吸法と体操	5回	172名
	脳もいきいき	14回	587名
創作・趣味活動	切り絵を体験しよう	1回	24名
	新聞紙で手作りバックをつくろう	1回	13名
心と体の健康づくり事業	うたごえ体操	31回	1,730名
	ここからケア	6回	132名
	ぼかぼか体操	18回	880名
	じんわりストレッチ	11回	532名
三世代交流	クリスマス☆コンサート	1回	73名
夏休みチャレンジ教室	ミニミニ夏祭り&盆踊り	2回	119名
同好会	絵手紙同好会	9回	137名
	クッキング同好会	0回	0名
	男の手料理同好会(火・水コース)	0回	0名

(3) 児童センター事業

年度当初からコロナ禍にあり、約2ヵ月間、自由来館を休止した。その間、新しい生活様式を踏まえ、実施に向けた準備期間とした。再開にあたり、1日の開館時間を3回に区切り、換気や玩具の消毒、検温、手指消毒等を徹底し、安心安全に遊べるように配慮した。

主に小・中学生を対象とした健康・体力増進・情緒育成・創作意欲を育てる目的の教室や行事を開催した。日常的な遊びの中で子どもたちは、友人や地域の方達とカプラ・ボードゲーム・すごろく・かるた・トランプなどのアナログな遊びで時間を共有した。一輪車や卓球、竹馬などの体を使った遊び、コマ回し・けん玉などの昔遊びを通して交流が生まれていた。

また、四季折々の工作・歳時記体験・茶道なども行い、日本の伝統文化に親しんだ。その中でも華道は、定例の教室に加え、発表の場を設け、多くの方に観てもらい、褒めてもらう事で自信や達成感に繋がった。そして、平日の午前中の時間を利用した子育て支援事業「あーと・らぼ」では、子どもの体験だけではなく、親もリフレッシュやストレス発散できる活動を取り入れ、親子で絆を深める支援を行った。

気軽に相談できるきっかけ作り・環境作りに努め、子どもの遊びの拠点・居場所となり、子どもの活動の様子から必要に応じた機能役割の充実と関係機関との連携を密にし、適切に対応することができた。

今後も世代、年齢、立場を超え、複合施設の利点を生かし、地域ボランティアの方々と連携を図り、関わり見守られながら、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じたうえで実施できることに一つ一つ取り組む。「あそび」を通して体験・発見・喜び・悔しさなどを体験し、家族や友だちと人間関係を築き、ルールやマナーなどの社会性を育てて逞しく生きていく学ぶ場を提供し、子どもたちの健全育成を継続していく。

児童センター事業の内容

基本事業	事業名	開催回数	参加人数
子育て支援事業	えほん・よみかたり	8回	87名
	あーと・らぼ	24回	285名
	親子あそび(ぬりえ・ままごと・知育玩具など)	415回	6,183名
児童・生徒の健康・体力に関すること	卓球	149回	1,397名
	一輪車	107回	508名
	竹馬	113回	346名
	カプラ	88回	402名
	カロム	42回	210名
	けん玉教室・けん玉	131回	520名
	ボードゲーム(オセロ・人生ゲーム)	234回	2,908名
	コマ	95回	285名
	将棋	25回	75名
	ねころびシアター	22回	176名
他学年・他校との交流	子どもいけばな教室	10回	260名
自ら考え創作意欲を育てる	ちよきちよきタイム	46回	382名
	カプラであそぼう～!!	1回	30名
	こども歳時記体験(モバイルをつくろう)	1回	6名
	夏休み特別教室(チョークアート)	2回	15名
	世界のボードゲームであそぼ～!	5回	105名
三世代交流	おたのしみ会	1回	55名
健全な情緒育成に関すること	クリスマスコンサート	1回	41名
	けん玉大会	1回	15名

年間登録者数

小学校	中学校	高校生	乳幼児	合計
276名 (665)	73名 (159)	11名 (18)	494名 (942)	854名 (1,784)

* () 内は前年度

① 防犯・不審者対策について

子どもたちへ不審者対処法を指導した。他の職員に定期的に見回りしてもらった。
また、毎月1回、災害や火災の想定で避難訓練を実施した。

② 安全対策について

点検チェック表を作成し、蛍光灯、おもちゃ、本棚、カーテン、机、イス、ベッド、遊具などを定期的に点検した。

③ 相談や要配慮児童への対応

相談に応じるときは、常に子ども・子育て家庭の置かれている状況や緊急性・重大度に注

意し、関係機関との連携を密にした。また、要配慮児童については土・日曜日、長期休暇の様子を注視し、職員間での対応の仕方、言葉掛けなどに留意したほか、学校や地域、各関係機関と連携を図った。

(4) 母子・父子福祉センター事業

ひとり親（母子・父子）家庭及び寡婦の方々、乳幼児の親子を対象に、就労支援事業や子育て支援講座を通して福祉の向上に努めた。就労支援講座として、医療事務講座・簿記入門講座・簿記3級検定対策講座・パソコン教室を開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため年度前半は講座の開催を控えたが、後半は例年どおりの講座を開催した。開催できた講座の数は減ったが、受講者は例年と変わらないくらいの参加があった。特にパソコン教室はリモートやオンラインなどの普及により、例年以上の受講者が集まった。入門編だけではスキルが身につかないと引き続き講座を希望される方も多く、急遽補講を設定した。9名中8名が続けて受講し、残り1名は個別の指導を受けたいと個人的にパソコン教室に通われ、それぞれのレベルに合った学習をすることができた。医療事務講座と簿記入門講座もそれぞれ10名ずつ申し込みがあり、感染拡大防止対策を取りながら、通常どおり講座を開催することができた。

子育て支援事業としては、おやこタイム・おやこ広場を開催し、乳幼児の親子の子育て支援に力を入れた。4カ月健診後のおやこタイムでは、同じ月齢の子を持つ母親達が集まり、子育ての楽しさや悩みを共有している。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、子育て支援の場が減ったり、利用しづらくなっており、同じ月齢の子や母達と出会う場があることを喜ばれていた。お茶の提供を中止したり、保育ボランティアによる抱っこを控えたりと、感染拡大防止対策を講じながら開催しているが、親子で安心して楽しんでおり、コロナ禍での出産や子育てなど共感できる話題も多く、母達のいい息抜きになっている。おやこ広場ではゆったりと遊びながら、親子の時間を過ごしている。毎週続けて来る方が多く、安心して楽しく遊べる場所になっている。子育て支援センターなど予約が必要な場所が多くなったが、おやこ広場は予約無しで来られ利用しやすいと好評だった。

ひとり親家庭の親子交流会は、今年度は2回の開催となった。野外でのバーベキューは4月の開催を見合わせ、10月に延期し9組の親子が参加した。父子家庭や小学校高学年の男子や、因島や浦崎などの遠方の方など、通常はあまり参加されない家族の参加もあり、以前よりも良い交流が図れた。来年度は引き続き野外活動や工作系など、父子家庭も参加しやすい内容の交流会も検討していく。

母子・父子福祉センター事業の内容

基本事業	事業名	開催回数	参加人数
就労支援事業	パソコン教室（入門編）	8回	61名
	医療事務講座	17回	163名
	簿記入門講座	10回	88名
	簿記3級検定対策講座	11回	50名
子育て支援	おやこタイム	36回	725名
	おやこ広場	31回	273名
	ひとり親家庭の親子交流会	2回	26名

(5) 福祉センター事業「よりあい広場」

障害者、高齢者の別なく尾道市在住の方ならだれでも参加できる「よりあい広場」を開催した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため年度前半は開催を見合わせ、12月・2月・3月に3回講座を行った。感染対策を取りながらの開催となったが、久しぶりにイベントに参加される方も多く、新鮮な気分で楽しんでいただけた。コロナの感染拡大状況に配慮しながら、次年度も市民の方に喜んでいただける講座を企画していく。

事業の内容

事業名	開催日	参加者
たおるマジック～来年の干支をつくろう～	12月10日(木)	31名
エアロフットを体験しよう	2月18日(木)	40名
空(そら)演奏会	3月18日(木)	75名
合計		146名

12. 共同募金事業

10月の街頭募金をはじめ、各地区・自治会からの戸別募金、法人や学校・団体からの募金及び募金箱の設置などの募金活動を実施した。今年度は、コロナ禍で活動が制限される中、様々な感染防止対策を講じ、従来とは形を変えながら活動を展開したが、街頭募金活動の縮小や企業・団体からの募金額減少など、募金実績額は前年度より減少した。

令和元年度募金実績による配分金は、各地区社協やボランティア団体等へ還元し、地域福祉活動に役立てられた。

ア 監査・実施委員会会議の開催

- ・ 監査 令和2年5月29日(金)
- ・ 審査委員会会議 令和2年8月26日(水)
- ・ 運営委員会会議 令和2年9月28日(月)
- ・ 目標額と実績 令和2年度 [参考] 令和元年度
 目標額 21,500,000円 目標額 21,500,000円
 実績額 17,856,239円 実績額 19,775,919円

イ 募金実績の内訳

(単位：円)

地域名	旧尾道	御調	向島	因島	瀬戸田	合計
戸別	6,855,390	608,100	1,456,900	2,096,475	1,061,400	12,078,265
街頭	317,783	83,751	56,359	442,430	56,209	956,532
法人	1,383,000	334,000	563,500	135,670	323,000	2,739,170
学校	197,308	19,397	26,785	4,294	11,528	259,312
職域	883,557	108,440	125,154	274,242	431,567	1,822,960
合計	9,637,038	1,153,688	2,228,698	2,953,111	1,883,704	17,856,239

ウ 災害義援金の実績

(単位：円)

項目	旧尾道	御調	向島	因島	瀬戸田	合計
令和2年7月 豪雨災害義援金	10,000	0	5,000	0	0	15,000

13. 災害支援事業

(1) 災害ボランティアセンター

平成 30 年 7 月豪雨災害からの教訓を活かし、平時からの体制づくりとして災害ボランティア事前登録者の確保を進め、令和 3 年 3 月 31 日時点で 136 名の登録がなされている。また、“災害・防災・減災”をテーマに、災害ボランティア事前登録者と連携しながら、以下の取り組みを行った。

開催日	場 所	内 容	参加者
9 月 25 日 (金)	総合福祉センター	◇防災講座「防災ってなんだろう」 講師：災害ボランティア登録者 2 名 市社協職員 3 名 内容：①防災クイズ ②アルファ米の調理と試食 ③土のう造り体験	子どもサポート事業対象児童 12 名
1 月 31 日 (日)	総合福祉センター 4 階大会議室	◇災害ボランティア養成講座 (入門) 講師：特定非営利法人ひろしま NPO センター プロジェクトマネージャー 増田勇希さん ①近年の災害発生状況、 災害ボランティアの活動状況 ②災害ボランティアの意義とは ③災害ボランティアで知っておきたい知識や技術、気をつけること	34 名

(2) 災害義援金 (平成 30 年 7 月豪雨) の募集

本年度も市内の被災者支援に限定した義援金の募集窓口を継続して行い、令和 2 年 6 月 30 日をもって受付を終了した。

令和 2 年度は一般の方々より 5 件、37,782 円の義援金が寄せられ、平成 30 年度からの総額では、152 件、18,540,306 円となった。

(3) 支え合いセンター

昨年に引き続き支え合いセンターでは、対象の 383 世帯被災者の方々を訪問し、現状の把握に努めるとともに精神的な悩みや住宅再建、日常生活課題の相談支援を行った。また、地域連携会議等を毎月開催し、広島県（地域福祉課、こころのケアチーム）、広島県社協、尾道市（健康推進課、まちづくり推進課住宅政策係及び社会福祉課）との連携も図りながら、閉所に向けた支援引継ぎも行った。

当初、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、直接の面談が憚られたので、インターフォン越しの訪問をするところとなった。今年度も梅雨の時期が近づくにつれ、一部の被災者の精神面の不安感が高くなり、尾道市健康推進課や広島県こころのケアチームへ繋いで支援した。

また、ブルーシートを掛けたままの所が約 50 件残っており、広島県技術士会に資料提供し、ブルーシート対応のコメントをもらい被災者へ伝えた。しかし、費用面の事もあり、解決には至っていない。

見守りが必要な 240 世帯については重点的に訪問し、警戒区域地図、避難所一覧表、避難時持ち物一覧表及びマイタイムライン（避難計画書）を手渡ししながら聴取りを行った。併せて、センター閉所後の支援を見越した取り組みとして、圏域ごとに各関係機関との情報共有と支援方針の確認を目的とした会議を開催し、連携構築を図った。その結果、年度末の閉所時における見守り区分は、重点見守りが 0 世帯、通常見守りが 0 世帯、不定期見守りが 1 世帯、見守りの必要なしが 382 世帯となっている。

訪問時に 3 月末日で支え合いセンターが閉所する旨を伝えていたが、2 月にはセンターだよりを対象の全世帯に送付し、閉所及び閉所後の相談先をお知らせした。

3 月中旬に市役所ロビースペース、行政の各支所、社協の本所及び支所で支え合いセンターパネル展を実施し、活動報告を行った。

被災前からの課題に関して、継続した支援が必要な世帯も有り、今後はサポートセンターで関係機関と連携を図っていく。

その他、今後また起こりうる災害後の復興支援の参考資料として、今回の支え合いセンターの活動記録である「支え合いセンター事業報告書」をまとめた。

14. 地域包括支援センター事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で地域の活動が停滞する中、認知症高齢者や高齢者虐待、多問題家族、身寄りのない高齢者等の困難事例に積極的に対応するため、保健師、看護師、社会福祉士を新たに採用し、職員10人体制で、介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）における介護予防ケアマネジメント、包括的支援事業（総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務）、認知症施策の推進、及び指定介護予防支援事業を実施した。

(1) 総合相談・支援業務

相談内容													
	認知症	高齢者虐待	権利擁護	困難事例	入退院時連携	入院・入所支援	介護保険	総合事業	一般介護予防	精神	社会資源等	その他	計
実件数	55	15	12	91	30	24	569	61	46	19	17	34	973
延件数	197	56	51	312	149	98	1524	140	127	94	56	127	2931

(2) 介護プラン作成件数（延べ） 4,611件

介護予防		総合事業	
直営作成（延）	1,597件	直営作成（延）	1,448件
委託作成（延）	931件	委託作成（延）	635件
合計	2,528件	合計	2,083件

(3) 介護予防普及啓発事業

月 日	事 業	参加者数
6月2日（火）	第3区民生委員・児童委員定例会「熱中症予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 野田知子 楠千賀子	29名
6月3日（水）	第4区民生委員・児童委員定例会「熱中症予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 住田八重 小林雅子	23名
6月4日（木）	第9区民生委員・児童委員定例会「熱中症予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 野田知子 兼長亜実	16名
6月17日（水）	ふれあいサロン吉和「熱中症予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 千川千賀	20名
6月18日（木）	老人センターむつみ会「熱中症予防について」「体と頭の体操」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 有元 愛 千川千賀	16名
6月19日（金）	福寿会「熱中症予防について」「体と頭の体操」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 千川千賀	13名

6月20日(土)	にこにこクラブ「熱中症予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 千川千賀	30名
6月25日(木)	シルバーリハビリ指導士会西部地区 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 有元 愛 千川千賀	18名
7月1日(水)	老人センター男のストレッチ「熱中症予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 有元 愛 千川千賀	14名
7月1日(水)	健志塾「熱中症予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実	29名
7月1日(水)	第4区民生委員・児童委員定例会「食中毒について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 住田八重 小林雅子	22名
7月2日(木)	第9区民生委員・児童委員定例会「食中毒について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 有元 愛	17名
7月3日(金)	松岡サロン「感染予防について」「フレイル予防について」「熱中症予防について」 講師：尾道市健康推進課 岡野智佐子さん 尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 有元 愛	12名
7月6日(月)	第10区民生委員・児童委員定例会 「熱中症予防について」「食中毒について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 赤瀬真由美 千川千賀	9名
7月7日(火)	第3区民生委員・児童委員定例会「食中毒について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 楠千賀子 兼長亜実	29名
7月10日(金)	老人センターうたごえ体操「熱中症予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 有元 愛 千川千賀	28名
7月10日(金)	吉浦さくらクラブ「熱中症予防について」「感染症予防について」「フレイル予防について」「体と頭の体操」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 有元 愛 千川千賀	14名
7月14日(火)	福寿会「消費者被害について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 赤瀬真由美 小林雅子 土橋健太郎	14名
7月16日(木)	シルバーリハビリ吉浦教室「熱中症予防について」 「地域包括支援センターについて」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 赤瀬真由美	15名
7月30日(木)	シルバーリハビリ指導士会西部地区「食中毒について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 千川千賀	20名
8月1日(土)	にこにこクラブ「健康づくりのためのポイント」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 住田八重	29名
8月27日(木)	尾道市老人クラブ連合会「歳をとるのは怖くない」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 野田知子	50名

9月8日(火)	福寿会「認知症との付き合い方」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 住田八重 吉國陽子 千川千賀	13名
9月8日(火)	いきいきサロン吉和「消費者被害について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 赤瀬真由美 土橋健太郎	10名
9月9日(水)	平原はつらつサロン「熱中症予防について」「体と頭の体操」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 有元 愛 千川千賀	14名
9月13日(日)	日比崎地区老人クラブ連合会「フレイル予防について」「予防体操」 講師：尾道市地域包括支援センター 小郷園子さん 尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 楠千賀子	26名
10月3日(土)	にこにこクラブ「ころばぬ先のフレイル対策」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 野田知子 住田八重 兼長亜実	27名
10月13日(火)	福寿会「老人クラブからはじまる地域のつながり」「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市社会福祉協議会 西部圏域生活支援コーディネーター 藤原孝太郎 尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 有元 愛	14名
10月16日(金)	老人センターうたごえ体操「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 有元 愛	116名
10月24日(土)	老人センター脳もいきいき「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 千川千賀	64名
10月28日(水)	老人センター男のストレッチ「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 有元 愛 千川千賀	18名
10月29日(木)	シルバーリハビリ指導士会西部地区「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 有元 愛 千川千賀	18名
11月2日(月)	第10区民生委員・児童委員定例会「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 赤瀬真由美 土橋健太郎	8名
11月4日(水)	健志塾「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 有元 愛	18名
11月4日(水)	第4区民生委員・児童委員定例会「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 住田八重 小林雅子	16名
11月5日(木)	シルバーリハビリ吉浦教室「ころばぬ先のフレイル対策」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 小林雅子	16名
11月5日(木)	第9区民生委員・児童委員定例会「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 有元 愛	16名

11月7日(土)	にこにこクラブ「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 千川千賀	26名
11月10日(火)	いきいきサロン吉和「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 千川千賀	14名
11月10日(火)	第3区民生委員・児童委員定例会「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 野田知子 楠千賀子	29名
11月12日(木)	川上さくらんぼ会「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 千川千賀	8名
11月18日(水)	ふれあいサロン吉和「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 有元 愛 千川千賀	23名
11月19日(木)	老人センターむつみ会「インフルエンザ予防について」「ころばぬ先のフレイル対策」「体と頭の体操」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 有元 愛 千川千賀	15名
11月25日(水)	平原はつらつサロン「インフルエンザ予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 千川千賀	11名
11月26日(木)	竹屋ほほえみサロン「インフルエンザ予防について」「ころばぬ先のフレイル対策」「自宅で健康を維持するためのポイント」「体と頭の体操」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 千川千賀	16名
12月8日(火)	いきいきサロンひまわり「インフルエンザ予防について」「介護保険制度について」「予防体操」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 千川千賀	14名
1月27日(水)	いきいきサロン新浜「インフルエンザ予防について」「ころばぬ先のフレイル対策」「予防体操」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 千川千賀	11名
2月1日(月)	ふれあいサロンもみじ「フレイル予防について」「体と頭の体操」 講師：尾道市健康推進課 岡野智佐子さん 尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 千川千賀	17名
3月3日(水)	健志塾「フレイル予防について」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 千川千賀	20名
3月4日(木)	シルバーリハビリ吉浦教室「お口の健康について」「脳トレ体操」 講師：尾道市西部地域包括支援センター 兼長亜実 千川千賀	14名

(4) 地域活動

月 日	表 題	内 容	参加者数
6月1日(月)	第10区民協定例会	ねこのて手帳配布について	8名

6月2日(火)	第3区民協定例会	ねこのて手帳配布について	29名
6月3日(水)	第4区民協定例会	ねこのて手帳配布について	21名
6月4日(木)	第9区民協定例会	熱中症について	15名
6月25日(木)	ねんりんほうす運営会議	入居者の利用状況について	9名
7月1日(水)	第4区民協定例会	食中毒について	19名
7月2日(木)	第9区民協定例会	食中毒について	17名
7月6日(月)	第10区民協定例会	食中毒について	9名
7月7日(火)	第3区民協定例会	食中毒について・福祉まると相談について	29名
7月30日(木)	栗原・久山田地区社協モデル町内合同会議	見守り隊活動、小地域ネットワーク推進事業について	15名
8月3日(月)	第10区民協定例会	コロナに便乗した商品送り付けの注意喚起	8名
8月4日(火)	第3区民協定例会	熱中症について	29名
8月5日(水)	第4区民協定例会	コロナに便乗した商品送り付けの注意喚起	19名
8月6日(木)	第9区民協定例会	コロナに便乗した商品送り付けの注意喚起	15名
8月25日(火)	在宅介護者の集い	「在宅介護で知っておきたいこと」講師：住田八重	10名
8月27日(木)	令和2年度高齢者相互支援推進員・啓発事業	講演「年をとるのはこわくない」講師：野田知子	50名
9月1日(火)	第3区民協定例会	新型ウィルスコロナ対策について	29名
9月1日(火)	ふれあいサービス会員養成講座	「高齢者の現状と課題」について	30名
9月2日(水)	第4区民協定例会	やすらぎ支援員養成講座の紹介	21名
9月3日(木)	第9区民協定例会	認知症高齢者見守り事業について	17名
9月7日(月)	第10区民協定例会	やすらぎ支援員養成講座の紹介	9名
9月27日(日)	久山田町内会理事会	小地域ネットワーク推進事業	25名
9月30日(水)	第8期介護保険事業計画生活圏域ヒヤリング会議	西部圏域の高齢者・介護保険の状況について	40名
10月1日(木)	第9区民協定例会	インフルエンザの予防接種について	16名
10月5日(月)	第10区民協定例会	インフルエンザの予防接種について	7名
10月6日(火)	第3区民協定例会	季節性インフルエンザについて	28名
10月7日(水)	第4区民協定例会	家族の集いの紹介	20名

10月27日(火)	在宅介護者の集い	「在宅介護を支えるサービスについて」講師：小林雅子	10名
10月28日(水)	ねんりんはうす運営会議	第10回身体拘束廃止委員会について	9名
11月2日(月)	第10区民協定例会	振り込め詐欺について	8名
11月4日(水)	第4区民協定例会	インフルエンザ予防の案内	16名
11月5日(木)	第9区民協定例会	ケアマネ交流会について	16名
11月10日(火)	第3区民協定例会	ショートメール詐欺について 尾道警察 杉山係長	29名
12月1日(火)	第3区民協定例会	8050問題事例検討会	27名
12月2日(水)	第4区民協定例会	民生委員と協働して支援をした事例紹介	21名
12月3日(木)	第9区民協定例会	免疫力と健康習慣について	13名
12月7日(月)	第10区民協定例会	民生委員児童委員・介護支援 専門員意見交換会について	10名
12月10日(木)	尾道市支え合いセンター西部 地域支援調整会議	西部圏域の状況について	20名
1月5日(火)	第3区民協定例会	健康推進課より尾道市でのコ ロナの現状について	27名
1月6日(水)	第4区民協定例会	コロナ対応として改めて注意 喚起	21名
1月6日(水)	第10区民協定例会	新型コロナウイルスの予防に ついて	10名
1月7日(木)	第9区民協定例会	新型コロナウイルスの尾道市 の現状について	15名
2月1日(月)	第10区民協定例会	司法書士による市民公開講座 について	11名
2月2日(火)	第3区民協定例会	8050問題を含むひきこもりの 紹介	28名
2月3日(水)	第4区民協定例会	市民公開講座相続法改正につ いて	23名
2月4日(木)	第9区民協定例会	熱がある時の受診方法について	15名
3月1日(月)	第10区民協定例会	尾道いきいき大学について	11名
3月1日(月)	令和2年度尾道市生活支援体 制整備事業	第1層協議体会議	25名
3月2日(火)	第3区民協定例会	フレイル予防と尾道いきいき 大学について	29名
3月3日(水)	第4区民協定例会	フレイル予防と尾道いきいき 大学について	23名
3月4日(木)	第9区民協定例会	フレイル予防を心掛けて自立 した生活を	15名
3月9日(火)	令和2年度小地域ネットワー ク会議活動実践報告&研修会	栗原・久山田地区見守隊報告	85名

(5) 認知症地域支援推進員の活動

月 日	表 題	内 容	参加者数
4月7日(火)	個別会議	利用者の今後の支援・サービスについて	6名
6月18日(木)	見守り訓練について説明会議	西部圏域における見守り訓練について相談	4名
6月19日(金)	個別ケア会議	利用者のサービス・支援について	10名
7月30日(木)	個別支援会議	老健入所に伴って支援方法等について検討	5名
8月3日(月)	にこにこクラブ(サロン)	サロンにて認知症予防啓発	25名
8月5日(水)	退院前ケアカンファレンス	利用者の退院後の支援について	8名
8月17日(月)	個別支援会議	利用者の現状と今後の支援について	6名
8月21日(金)	個別支援会議	利用者の虐待等を含めた支援対応会議	6名
8月25日(火)	在宅介護者の集い	在宅介護者の集いにて講演	24名
8月27日(木)	個別支援会議	利用者の老健退所に伴う、今後の支援会議	6名
8月31日(月)	個別支援会議	利用者の情報共有を含めた今後の支援会議	6名
9月2日(水)	個別支援会議	担当ケアマネより相談	4名
9月3日(木)	介護予防事業の開催について	福寿会にて声かけ訓練等の開催準備	3名
9月8日(火)	介護予防事業	福寿会にて声かけ訓練等実施	13名
9月12日(土)	個別支援	アルツハイマー型認知症を患う利用者の個別会議	6名
9月30日(水)	ヒヤリング会議	第8期介護保険事業計画ヒヤリング会議	10名
10月6日(火)	個別支援カンファレンス	利用者の今後の支援について	9名
10月23日(金)	地域ケア会議	利用者の今後の対応について	7名
10月29日(木)	ケアマネ支援	ケアマネの対応について相談	6名
11月24日(火)	個別支援カンファレンス	利用者退院ケアカンファレンス	6名
11月30日(月)	個別支援カンファレンス	利用者今後の支援について	6名
11月30日(月)	個別支援カンファレンス	利用者情報共有会議	4名
12月1日(火)	連携相談	広島銀行より何度も通帳を紛失する方の支援について	4名
12月7日(月)	交流会	認知症初期集中支援チームとの意見交換会	14名
12月10日(木)	個別相談	利用者個別相談	5名

1月7日(木)	個別支援会議	成年後見申請についての会議	7名
2月25日(木)	チーム員会議	チーム員と認知症推進員との会議	5名
3月8日(月)	地域ケア会議	認知症夫婦の生活の今後について	5名
3月16日(火)	交流会	オレンジカフェ交流会	43名
3月24日(水)	訪問	認知症による周辺症状について民生委員と状況確認	4名
3月25日(木)	チーム員会議	チーム員と認知症推進員との会議	5名

(6) 包括支援センター担当者会議

月 日	表 題	内 容	参加者数
4月27日(月)	管理者会議	高齢者福祉課の人事異動&尾道市のコロナ対策について	9名
5月21日(木)	管理者会議	総合事業の請求について(コロナにより、休みにした対応)	9名
6月25日(木)	管理者会議	地域包括事業評価について	10名
6月25日(木)	介護予防・生活支援部会	本年度の目標について	13名
6月25日(木)	在宅医療・介護連携推進部会	本年度の目標について	9名
6月25日(木)	認知症施策推進部会	令和2年度の活動計画について	14名
6月25日(木)	権利擁護部会	令和2年度の活動計画について	9名
6月25日(木)	尾道市内担当者会議	介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)について	43名
7月9日(木)	介護予防・生活支援部会	地域ケア会議の理解にむけての取組	17名
7月10日(金)	権利擁護部会	令和2年度尾道市高齢者虐待対応研修会について	15名
7月17日(金)	認知症施策推進部会	各圏域のオレンジカフェ等の活動について	16名
7月22日(水)	管理者会議	第8期介護保険計画策定について	9名
7月30日(木)	在宅医療・介護連携推進部会	本年度のACP研修について	15名
8月7日(金)	在宅医療・介護連携推進部会	ACP研修の役割分担について	14名
8月14日(金)	権利擁護部会	「行方不明者届」について	12名
8月17日(月)	介護予防・生活支援部会	地域ケア個別会議の集約について	17名
8月19日(水)	管理者会議	コロナ対策と短期集中通所型サービスの利用について	11名
8月21日(金)	認知症施策推進部会	チームオレンジについて	14名

9月11日(金)	権利擁護部会	虐待マニュアルの見直しについて	14名
9月17日(木)	管理者会議	第8期介護保険計画ヒヤリングについて	10名
9月18日(金)	認知症施策推進部会	認知症初期集中支援チームの啓発について	15名
9月24日(木)	在宅医療・介護連携推進部会	ネットワーク会議で集約された圏域ごとの課題について	14名
10月8日(木)	介護予防・生活支援部会	困難事例の緊急対応時の金銭管理について	16名
10月9日(金)	権利擁護部会	令和2年度尾道市高齢者虐待対応研修会の役割分担について	14名
10月22日(木)	管理者会議	実態把握の電話訪問について	9名
10月22日(木)	在宅医療・介護連携推進部会	ACP研修の振り返り(講師:尾道総合病院 則行敏生先生)	16名
10月23日(金)	認知症施策推進部会	オレンジカフェの推進について	13名
11月10日(火)	認知症施策推進部会	DASK-21(認知機能障害と生活障害の評価)について	13名
11月12日(木)	介護予防・生活支援部会	身寄りのない方の金銭管理対応について	16名
11月13日(金)	権利擁護部会	尊厳死と安楽死について	14名
11月26日(木)	管理者会議	自立支援型地域ケア個別会議立ち上げに係る協議	11名
11月26日(木)	在宅医療・介護連携推進部会	ACP研修の振り返り(講師:田辺さん)	16名
12月11日(金)	権利擁護部会	成年後見事務に関する実務上の問題について	16名
12月17日(木)	介護予防・生活支援部会	各圏域の第3層協議体について	18名
12月18日(金)	認知症施策推進部会	オレンジカフェ連絡会の開催について	15名
12月23日(水)	管理者会議	尾道市版自立支援型地域ケア個別会議について	10名
1月14日(木)	管理者会議	尾道市版自立支援型地域ケア会議マニュアルについて	10名
1月14日(木)	介護予防・生活支援部会	地域ケア会議入力するシートについて	12名
1月15日(金)	権利擁護部会	広島県司法書士会主催 相続について	13名
1月22日(金)	認知症施策推進部会	アルツハイマーデーの関連事業について	15名
1月28日(木)	在宅医療・介護連携推進部会	広島県ACP普及推進員研修報告	16名
2月15日(月)	管理者会議	地域共生包括推進会議について	10名
2月15日(月)	管理者&社会福祉課合同会議	障害から介護保険への移行について	13名

2月18日(木)	介護予防・生活支援部会	自立支援型地域ケア会議について	15名
2月18日(木)	介護予防・生活支援部会&生活支援コーディネーター合同会議	第3層協議体進捗状況について	20名
2月18日(木)	認知症施策推進部会	尾道市オレンジカフェ交流会について	16名
2月26日(金)	権利擁護部会	令和2年度の振り返り	13名
3月11日(木)	介護予防・生活支援部会	本年度の反省・活動実績について	14名
3月17日(水)	権利擁護部会	虐待マニュアルの見直しについて	14名
3月18日(木)	管理者会議	自立支援型地域ケア会議について	10名
3月19日(金)	認知症施策推進部会	チームオレンジコーディネーター研修について	15名
3月26日(金)	在宅医療・介護連携推進部会	本年度の反省・活動実績について	16名

※尾道市西部地域包括支援センター定期会議を毎月1回開催(事業所会議 月1回)

(7) 研修等

ア 尾道市介護支援専門員連絡協議会主催・共催

月 日	内 容	参加職員数
10月13日(火)	第225回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会(主任) 「自立支援に向けたケアマネジメントプロセスの指導のポイントを学ぶ」 講師: 邑岡志保さん 安井由枝さん 村上泰子	3名
11月19日(木)	第225回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会(主任) 「主任ケアマネとしてケアマネを育てるノウハウを学び実践する」 講師: 邑岡志保さん 安井由枝さん 村上泰子	3名
11月19日(木)	新人介護支援専門員研修「自立支援に向けたケアプランについて考える」 講師: 安井由枝さん 邑岡志保さん 村上泰子	3名

イ 広島県・その他

月 日	研 修 名	参加職員数
7月22日(水)	令和2年度尾道市西部包括圏域居宅介護支援事業所共同事例検討会「障害福祉から介護保険につなげるケース」 講師: ケアマネジメントセンターこねくと 安井由枝さん	4名
7月28日(火)	地域包括ケアシステム初任者セミナー研修 講師: 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 社会政策部長主任研修員 岩名礼介さん	3名
9月17日(木)	データを活用した地域分析方法等に係る研修会「医療介護連携の現状と課題」 講師: 産業医科大学医学部教授 松田晋哉さん 助教 藤本賢治さん	4名

9月24日(木)	人生会議 医療現場でのACP 講師：尾道総合病院 則行敏生先生	9名
10月1日(木)	広島県地域包括・在宅介護支援センター協議会 基礎研修 「総合相談業務」「包括的・継続的ケアマネジメント支援業務」 講師：代表理事 土屋幸巳さん	1名
10月2日(金)	広島県地域包括・在宅介護支援センター協議会 基礎研修 「権利擁護」 講師：代表理事 土屋幸巳さん 「介護予防ケアマネジメント」講師：元廣 緑さん	1名
10月14日(水)	令和2年度市町等苦情処理ブロック別(東部)連絡会議	1名
10月16日(金)	令和2年度尾道市高齢者虐待研修会「事例で学ぶ高齢者虐待の基本」講師：府中町社会福祉協議会 檜山 亮さん	2名
11月12日(木)	訪問看護から見たACP 講師：ひまわり訪問看護ステーション 田辺千里さん	7名
11月～3月	令和2年度広島県主任介護支援専門員更新研修	2名
11月27日(金)	「今こそ向上させたい免疫力」 講師：尾道市健康推進課管理栄養士 村上直子さん	1名
11月29日(日)	令和2年度広島県ACP普及推進員養成研修 講師：まるやまホームクリニック 丸山典良先生	1名
12月7日(月)	尾道市認知症初期集中支援チーム員・認知症地域支援推進員連絡会	1名
2月2日(火)	令和2年度認知症地域支援推進員及び認知症初期集中支援チーム員合同研修会 講師：認知症介護研究会研修東京センター 永田久美子さん	1名
2月17日(水)	認知症カフェセミナー研修 オンライン	3名
2月19日(金)	司法書士による代26回市民公開講座「相続法改正を踏まえた相続・遺言について」 講師：広島司法書士会法制度推進委員会委員	3名
2月19日(金)	第26回市民公開講座 司法書士による相続法改正を踏まえて	3名
2月22日(月)	令和2年度地域包括ケアシステム評価結果に係る市町情報交換会	1名
2月24日(水)	「介護報酬改定についてのセミナー」 講師：全国老人福祉施設協議会主催オンライン研修	5名
2月26日(金)	「2021年度介護報酬改定ポイント整理と対策」オンライン研修	4名
3月4日(木)	相続と遺言 講師：尾道公証役場 石本 仁さん	2名
3月12日(金)	尾道市自立支援型地域ケア会議事例提供者向け研修 講師：広島県地域包括ケア推進センター 望月マリ子さん	8名
3月19日(金)	令和2年度自立支援型ケアマネジメントアセスメント向上研修	1名
3月24日(水)	令和2年度情報交換会及び第2回総会 テーマ「コロナによる地域の変化について」	8名
3月27日(土)	令和3年度介護報酬改正説明会	3名
3月27日(土)	令和2年度広島県短期集中予防サービス実践事例報告研修 講師：牛田・早稲田地域包括支援センター 増野寛行さん サザン薬局居宅介護支援事業所 寺田昌子さん	1名

15. 介護保険事業

令和2年度事業計画で定めた事業所目標にそって、全7事業所（本所4事業所・因島支所1事業所・瀬戸田支所2事業所）で引き続き、介護保険、介護予防・日常生活支援総合事業を行い、自立支援に資する質の高いサービスを安定的に提供し、高齢者が住み慣れた地域の中で可能な限り自立した生活を営むことが出来るよう、介護保険事業を行った。

(1) 居宅介護支援事業

要介護・要支援者の心身の状況や置かれている環境、本人や家族の希望を勘案し、質の高いケアマネジメントを行うことにより、居宅サービス、地域密着型サービスあるいはその他の保健医療サービス等を適切に利用できるように、居宅サービス計画を作成し、その計画に基づくサービスの提供が適切に行われるよう、サービス提供事業者と連絡調整を行うなどの支援を行った。また、保険者より委託を受け、要介護認定調査、住宅改修等の事業を実施した。

① 居宅介護支援事業所

事業所の目標を、「社会情勢や地域包括ケアシステムの深化を踏まえ、尾道市内の地域ごとの特色を知る。」「利用者の生活を支えるため、アセスメントを深め関係機関との連携を図る。」と定め、ケアマネジャー4名で業務を行った。

また、新型コロナウイルス感染症予防対策として、研修会等は感染症対策の整ったものやオンライン研修へ参加し、薬学部学生の実習指導や広島県介護支援専門員実務研修受講生の受け入れも日程調整しながら行った。

ア 利用者の状況

居宅サービス計画作成依頼件数 163 件、要介護認定調査実施件数 30 件

介護保険

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
3	8	44	39	30	23	16	163

総合事業

事業対象者	要支援1	要支援2	合計
0	1	2	3

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 法人、事業所内研修・会議

月 日	内 容	参加者数
5月29日(金)	地域福祉やインフォーマルサービスの理解を深める 講師：尾道市社会福祉協議会地域福祉課課長補佐 松浦浩子	4名
7月22日(水)	令和2年度尾道市西部包括圏域居宅介護支援事業所共同事例 検討会 「障害福祉から介護保険につなげるケース」 講師：ケアマネジメントセンターこねくと 安井由枝さん	4名

9月～12月	介護ソフトシステム導入の研修、月1～2回 講師：ワイズマン(株) 秋田真治さん	4名
12月22日(火)	「法令遵守・倫理・個人情報・プライバシー保護研修」 事業所内伝達研修	4名
3月9日(火)	令和3年度介護報酬改定について、事業所内学習会	4名

事業所内利用者把握と諸連絡については毎週1回開催した

(イ) 事業所外研修（尾道市介護支援専門員連絡協議会主催・共催）

月 日	内 容	参加者数
10月13日(火)	第225回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会（主任） 「自立支援に向けたケアマネジメントプロセスの指導のポイントを学ぶ」 講師：邑岡志保さん 安井由枝さん 村上泰子	1名
11月19日(木)	第225回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会（主任） 「主任ケアマネとしてケアマネを育てるノウハウを学び実践する」 講師：邑岡志保さん 安井由枝さん 村上泰子	1名

事業所外研修（広島県、その他）

2月17日(水)	居宅介護支援事業所におけるケアマネジメント向上に資するOJT・事例検討会実践に活かす手引き Zoom ウェビナーを活用した管理者研修	1名
2月19日(金)	「2021年度介護報酬改定ポイント整理と対策」 講師：ワイズマン(株) 神内秀乃介さん オンライン	4名
2月24日(水)	「介護報酬改定についてのセミナー」 講師：全国老人福祉施設協議会主催 オンライン	4名
3月3日(水)	令和2年度実務研修実習指導者養成研修オンライン 講師：広島県介護支援専門員指導者	4名
3月12日(金)	「尾道市自立支援型地域ケア個別会議研修会」 講師：広島県地域包括ケア推進センター 望月マリ子さん	1名
11月～3月	令和2年度広島県主任介護支援専門員更新研修	1名

(ウ) 実習受け入れ

7月16日(木)	尾道市薬剤師会薬学部学生	9名
10月22日(木)	尾道市薬剤師会薬学部学生	7名
9月4日(金)	令和2年度広島県介護支援専門員実務研修・基礎技術研修	1名
9月25日(金)	令和2年度広島県介護支援専門員実務研修・基礎技術研修	1名

② すずらん居宅介護支援事業所

事業所の目標を、「自立支援型のケアプランをつくり、多職種と連携・協働できる」「特定事業所加算を算定できるように体制を整える」と定め、専任ケアマネジャー3名で業務を行った。

ア 利用者の状況

居宅サービス計画作成依頼件数 127件、要介護認定調査実施件数 74件

利用者 要介護度別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
	3	1	50	41	14	11	7	127

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

※事業所内でのケアマネ会議は週1回（月曜日）に実施

※生口島のケアマネ会議は2カ月に1回（第3火曜日）に実施（偶数月）

※因島のケアマネ会議は2カ月に1回（第3水曜日）に実施（奇数月）

(イ) 事業所外研修（尾道市介護支援専門員連絡協議会主催・共催）

月 日	内 容	参加者数
10月13日（火）	第225回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会（主任） 「自立支援に向けたケアマネジメントプロセスの指導のポイントを学ぶ」 講師：邑岡志保さん 安井由技さん 村上泰子	2名
11月19日（木）	第225回尾道市介護支援専門員連絡協議会研修会（主任） 「主任ケアマネとしてケアマネを育てるノウハウを学び実践する」 講師：邑岡志保さん 安井由技さん 村上泰子	2名

事業所外研修（広島県、その他）

8月～11月	令和2年度広島県介護支援専門員更新・専門研修課程Ⅱ	1名
11月～3月	令和2年度広島県主任介護支援専門員更新研修	1名
2月17日（水）	居宅介護支援事業所におけるケアマネジメント向上に資する OJT・事例検討会実践に活かす手引き Zoomウェビナーを活用した管理者研修	1名
3月3日（水）	令和2年度実務研修実習指導者養成研修オンライン 講師：広島県介護支援専門員指導者	2名

(ウ) その他、交流会・会議

月 日	内 容	参加者数
6月16日（火）	生口島ケアマネ会議（事例検討会）	3名

(2) 訪問介護事業

介護職員の増員は困難であったが、現人数での個々の個性を生かしつつ、要介護者や要支援者等に対し、介護福祉士等の資格を有する訪問介護員が居宅を訪問し、入浴、排泄、食事等の身体介護サービスや調理、洗濯、買い物等の生活支援サービスを実施した。

① 訪問介護事業所

事業所の目標を、「日々健康管理に努め、自己向上できる職場作りを目指しましょう。」と定め、7名の常勤ヘルパーと14名の嘱託ヘルパー、27名の登録ヘルパーが在宅の身体介護や生活援助にあたった。

ア 利用者の状況

利用者数 介護 198 名、総合事業 152 名、合計 350 名

ブロック	1	2	3	4	5	6	市外	合計
介護	4	16	44	42	64	28	0	198
総合事業	1	13	27	42	47	22	0	152
合計	5	29	71	84	111	50	0	350

介護保険

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
61	71	31	22	13	198

総合事業

事業対象	要支援1	要支援2	合計
6	55	91	152

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

月 日	内 容	参加者数
4月8日(水)	新年度の取り組みについて 新型コロナウイルスへの注意喚起	43名
6月10日(水)	法令遵守・倫理・個人情報・プライバシー保護 新型コロナウイルス感染症と戦う、チーム尾道「新しい生活様式」「新しい生活様式」における熱中症予防	39名
7月8日(水)	食中毒を防ぐ3つの原則・6つのポイント ～食中毒の予防とまん延防止の為の事例～ 豪雨災害の振り返り ～災害に備えて～	35名
8月12日(水)	介護ソフト導入に伴う、タブレットの使用について 事件事例・ヒヤリハット事例等事故防止について 自転車による事故について	34名
9月9日(水)	タブレット研修 認知症について ヘルパーの接遇とは？	38名
10月21日(水)	タブレット研修	47名
11月11日(水)	「コロナを逆手にとる」～三次市でのクラスター対策～ 火災・事故・ヒヤリハットへの注意喚起 タブレット研修	42名
12月9日(水)	感染症について タブレット研修	41名
1月13日(水)	事故の発生又はその再発の防止について タブレット研修	44名
2月10日(水)	緊急対応について タブレット研修	41名
3月10日(水)	看取りケアについて タブレット研修	41名

サービス提供責任者会議は毎月1回開催した

(イ) 事業所外研修

月 日	内 容	参加者数
9月30日(水)	高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画策定に係る ヒヤリング	1名

10月16日(金)	令和2年度尾道市高齢者虐待研修会「事例で学ぶ高齢者虐待の基本」講師：府中町社会福祉協議会 檜山 亮さん	2名
11月16日(月)	「訪問介護事業所の新しい働き方について考える研修会～ICTの活用は、今がチャンス!～」 講師：caredesign 代表取締役 藤井伸成さん	1名
12月23日(水)	尾道市役所交通安全研修 講師：尾道警察署交通課 城高大作さん	2名
3月1日(月)	令和2年度第1回精神障害者地域生活支援協議会	1名

(ウ) 定例会議(年9回)への出席

「尾道市地域自立支援協議会」「生活支援部会」 主催：尾道市社会福祉課障害福祉係	1名
--	----

② すずらん訪問介護事業所

事業所の目標を、「援助内容を把握し利用者のことを考え笑顔でサービスを行う」「健康に過ごす(利用者・自分・家族)」「時間に余裕を持ち安全に事故のないよう行動する」と定め、3名の常勤ヘルパーと6名の登録ヘルパーが在宅の身体介護や生活援助にあたった。

ア 利用者の状況

利用者数 介護 50名、総合事業 24名、合計 74名

介護保険

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
19	20	6	4	1	50

総合事業

事業対象	要支援1	要支援2	合計
1	6	17	24

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

月 日	内 容	参加者数
5月20日(水)	熱中症予防について・コロナウイルス感染症の対応について・評価表の記入と月末の提出書類について	9名
6月17日(水)	熱中症予防について 食中毒の予防について(レポート提出) コロナウイルスの対応について	9名
7月15日(水)	障害者虐待防止・権利擁護 コロナウイルス影響のため介護保険の認定期間延長の周知	9名
8月19日(水)	健康寿命を延ばす(資料を使って) 緊急時対応・ コロナウイルス(県外外出・帰省の報告) コロナウイルス県外外出・規制の報告について	9名
9月16日(水)	困難事例検討(若年性認知症について)	9名
10月23日(金)	タブレット研修	9名

11月18日（水）	感染症対策について タブレット研修 年末年始の訪問について	9名
12月16日（水）	タブレット研修・年末年始の訪問について（コロナウイルスの対応について）・ごみの収集について	8名
1月20日（水）	ヒヤリ・ハット事例研修 法令遵守・倫理・個人情報・プライバシー保護・虐待について	9名
2月17日（水）	令和2年度目標について達成状況（各自メモを提出） 障害者虐待防止法 コロナ感染防止の実践例について 令和3年度目標について	9名
3月17日（水）	接遇・マナー研修（資料配布） タブレット移動時間の入力について ノロウイルス集団感染の発生増加傾向の為感染予防する利用者の状態についての確認	9名

（3）訪問入浴介護事業

自宅で入浴が困難な要介護者に対して、特殊な設備を備えた入浴車で訪問し、特殊浴槽を室内に設置して入浴介護サービスを行なった。

① 訪問入浴介護事業所

事業所の目標を、「利用者を安全・安楽に移乗する介護技術の向上に取り組む。」と定め、1名の常勤看護職員と、2名の臨時看護職員、6名の臨時介護職員が、在宅での訪問入浴介護にあたった。

ア 利用者の状況

利用者数 19名 利用実績 539回

月 別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	54	46	39	40	37	47	51	50	41	43	45	46	539

利用者 要介護度別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
	0	0	0	1	2	7	9	19

イ 研修・会議の実施状況

（ア）事業所内研修

月 日	内 容	参加者数
5月19日（火）	夏季入浴の注意事項検討会議	4名
6月22日（月）	ヒヤリハット事例研修	4名
7月9日（木）	事故発生等緊急時対応に関する研修	6名
11月9日（月）	冬季入浴の注意事項検討会議	6名
12月17日（木）	認知症高齢者の対応についての研修	4名
12月22日（火）	法令遵守、倫理、個人情報・プライバシー保護研修	4名
12月24日（木）	感染症予防対策研修	4名
12月25日（金）	接遇研修	4名
2月9日（火）	令和3年度事業所目標についての検討会議	4名
2月17日（水）	ヒヤリハット事例研修	4名

2月19日（金）	満足度アンケート調査結果についての検討会議	4名
----------	-----------------------	----

※ ケース検討会議については計画に沿って毎月1～2回開催した。

(イ) 事業所外研修

月 日	内 容	参加者数
2月24日（水）	「介護報酬改定についてのセミナー」 講師：全国老人福祉施設協議会主催 オンライン	2名

(4) 通所介護事業

限られたスペースに人が集まって飲食や活動を行う通所介護では、新型コロナウイルス感染症が広がるリスクが大変高いため、事業所が感染元とならないよう対策に細心の注意を払い、通所介護計画に沿って、「趣味」「レクリエーション」「介護予防体操」「入浴」「食事」その他必要な介護等などを通して、「楽しみ」の中で、日常的な機能を維持・向上できるよう実施した。

① ふれ愛デイサービスセンター

事業所の目標を、「生きがいを持っていきいきと過ごしていただき、居心地がよいと思っ
てもらえるデイサービスを目指します。」と定め、

3名の常勤職員と2名の嘱託職員、15名の臨時職員で事業を展開した。

ア 利用者の状況

利用者数 介護59名、総合事業9名、合計68名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
利用者延数	433	399	466	512	460	497		
開設日数	26	26	26	27	26	26		
平均利用者数	16.6	15.3	17.9	18.9	17.6	19.1		
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者延数	485	443	465	392	387	462	5,401	
開設日数	27	25	26	24	24	27	310	
平均利用者数	17.9	17.7	17.8	16.3	16.1	17.1	17.4	

介護保険

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
15	20	10	6	8	59

総合事業

事業対象者	要支援1	要支援2	合計
0	4	5	9

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

月 日	内 容	参加者数
4月6日(月)	年間計画について・業務改善 満足度調査の結果と反省	6名
11月20日(金)	敬老会の反省・クリスマス会・ヒヤリハットについて	5名
12月18日(金)	事例で学ぶ高齢者虐待対応の基本	6名
12月18日(金)	法令遵守・倫理・個人情報・プライバシー保護	6名
12月23日(水)	感染症研修	5名
1月13日(水)	ふれ愛カフェについて	6名
2月6日(土)	認知症高齢者の対応について(資料配布)	14名
2月9日(火)	救命処置について	14名
3月31日(水)	満足度調査の結果について	5名

(イ) 事業所外研修

月 日	内 容	参加者数
10月16日(金)	事例で学ぶ高齢者虐待の基本を学ぶ	2名
12月22日(火)	消防訓練 火災発生時の対応	1名

ウ 行事等

季節にそった行事やレクリエーションを行い、5感を使い四季を感じる事ができた。
午前中は、それぞれ得意な手芸や、共同作品作りを行った。

○ 年間行事

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 4月 花見ドライブ・花見会 | 5月 避難訓練(中止) |
| 6月 買い物ツアー(中止) | 7月 尾道大学吹奏楽コンサート(中止) |
| 9月 敬老会 | 10月 ミニ運動会(中止) |
| 12月 鍋パーティー(中止)・クリスマス会 | |
| 2月 ふれ愛カフェ・節分会 | 3月 ひな祭り会 |

○ レクリエーション

・連想ゲーム・玉入れ・ボール送り・ボール入れ・物送りゲーム・おじゃみなげ・輪投げ・ボーリング・風船つり・ボールふりふりゲーム・ゲートボール・新聞ふみふみゲーム・ピンポンゲーム・カップインワン・テーブルカーリング・もぐらたたき・傘入れゲーム・バスケット・金魚すくい・プレゼント集めゲーム・いそぎんちゃくゲーム・フラフープ入れ・カップ麺ホッケー・ピンポンゲーム(新作)・キングズカップ(新作)・しゃもじ相撲(新作)

※おやつ作り、カラオケ、密になり得るレクリエーションはコロナウイルス感染拡大防止に伴い中止

○ ボランティアのみなさん

新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止

② 因島デイサービスセンター

事業所の目標を「利用者とのコミュニケーションを図り、楽しい時間が過ごせるデイに！」と定め、3名の常勤職員と7名の嘱託職員、20名の臨時職員で事業を展開した。

ア 利用者の状況

利用者数 介護 104名、総合事業 13 名、合計 117 名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
利用者延数	591	598	605	619	584	550	
開設日数	26	26	26	27	26	26	
平均利用者数	22.7	23.0	23.2	22.9	22.4	21.1	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者延数	591	573	553	529	523	571	6,887
開設日数	27	25	26	24	24	27	310
平均利用者数	21.8	22.9	21.2	22.0	22.5	21.1	22.2

介護保険

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
35	38	17	10	4	104

総合事業

事業対象者	要支援1	要支援2	合計
2	4	7	13

イ 研修・会議の実施状況

(ア) 事業所内研修

月 日	内 容	参加者数
4月13日(月)	コロナウイルスの対応 ADL表見直し ヒヤリハット	10名
6月15日(月)	食中毒、感染症について	22名
11月5日(木)	避難訓練について	22名
3月18日(木)	花見、ヒヤリハットについて	14名

※介護職員・看護職員及び調理員は、個々に毎月ミーティングを行った。

(イ) 事業所外研修

月 日	内 容	参加者数
3月12日(金)	認知症介護基礎研修(リモート)	2名
3月18日(木)	認知症介護基礎研修(リモート)	2名

ウ 行事等

○ 年間行事

端午の節句(5月) 母の日週間(5月) 父の日週間(6月)
 春の大運動会(6月) 夏祭り週間(8月) スイカ割り週間(7月)
 たこ焼き週間(8月) 敬老表彰(9月)
 秋の大運動会(10月) クリスマス会(12月) 甘酒週間(1月)
 ひな祭り週間(3月) コーヒー週間(毎月) 誕生日祝(利用者に合わせて)

○ レクリエーション

手遊び歌 サイコロしりとり 血液サラサラ体操
 言葉遊び ジャンケンゲーム ボール遊び 棒を持ってリズム体操 輪投げ
 風船釣り カラオケ・唱歌など他 音楽レクリエーション おジャミ積み
 椅子に座ってでもできる身体、頭を動かせるレクリエーションをした。

○ ボランティアのみなさん

ハーモニカ演奏 (3月1回のみ) オカリナ演奏(3月1回のみ)
 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い中止

16. 障害福祉サービス事業

障害のある人も普通に暮らし、地域の一員としてともに生きる社会作りを目指して、障害福祉サービスによる居宅介護等の「介護給付」と、移動支援等の「地域生活支援事業」を行い、障害者の自立を支えた。

(1) 障害者訪問介護事業

在宅の障害者宅をホームヘルパーが訪問し、家事・介護・移動介護の援助を行い、自立支援を図った。

① 訪問介護事業所

利用者数 64名 延利用回数 7,899回

③すずらん訪問介護事業所

利用者数 12名 延利用回数 574回

(2) 障害者訪問入浴介護事業

在宅の障害者宅を入浴車で訪問し、ベッド横に浴槽を運んで入浴していただくことで清潔を保ち、快適な在宅生活が送れるようにサービス提供を行った。

○尾道市社会福祉協議会訪問入浴介護事業所

利用者数 3名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	29	31	31	33	40	31	30	30	29	28	28	28	368

(3) 障害者通所介護事業

在宅の障害者がデイサービスを利用することにより外出の機会をつくり、社会的孤立感の解消と家族の身体的・精神的な介護負担の軽減を図った。

○尾道市社会福祉協議会ふれ愛デイサービスセンター

利用者数 8名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用回数	33	33	35	36	34	27	35	36	34	27	33	41	404